



PRIMADONNA
CLASS

Full Automatic Coffee Machine

デロンギ プリマドンナ クラス 全自動コーヒーマシン

型式番号

ECAM55085

家庭用

※本体の型式番号「ECAM55085」の後に続く
アルファベットは、色番号を表すものです。



取扱説明書（保証書付）

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

目次

使う前に	安全上のご注意	2
	コーヒーマシンのご紹介	4
	はじめにご確認ください	8
	各部のなまえとはたらき	9
	初めてお使いになる前に必ずすること	12
基本編	抽出前の準備をする	16
	コーヒーを抽出する	19
	ミルクメニューを抽出する	21
応用編	スチームで牛乳を泡立てる	23
	紅茶／お茶をいれる	25
	プロフィールごとにドリンクをカスタマイズ(定量設定)する	26
	便利な機能、その他の機能	28
こんなときは	お手入れ	34
	石灰(白い付着物)を除去する	40
	表示一覧	42
	故障かな？	46
	抽出量	48
	仕様	49
	アフターサービス	50
	保証書	51

安全上のご注意〈必ずお守りください〉

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの

警告



誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

注意

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。



警告



定格 15 A (100 V) のコンセントを単独で使用する

(火災、感電の原因)

- ※ ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しないでください。
- ※ 海外など異なる電源電圧の地域で使用しないでください。(日本国内専用)

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのほこりは定期的に乾拭き掃除をする

(火災の原因)

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災、感電の原因)

異常、故障時には直ちに使用を中止する

(火災、感電、やけどの原因)

〈異常、故障例〉

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
- 異常な音やにおいがする
- 本体に破損や変形がある
- 本体から水や蒸気が漏れる

異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

しっかり固定された平らな場所に設置する

(やけど、けがの原因)

※ 設置の方法は 8 ページ参照



本体や電源プラグ・コードに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたりしない

(火災、感電の原因)

誤って水をこぼしてしまった場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

濡れた手で本体を触ったり、電源プラグを抜き差ししない

(感電の原因)

動作中に電源プラグを抜き差ししない

(火災、感電の原因)

電源プラグ・コードを破損させない

(火災、感電の原因)

- 傷付けたり、加工したり、加熱したりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
- コードを引っ張って本体を移動させない

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

分解、修理、改造をしない

(火災、感電、やけどの原因)

製品の表面にひびが入っている場合は使用しない

(火災、感電、けがの原因)

警告



子供など取り扱いに不慣れな方、介助を必要とする方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない

(火災、感電、やけど、けがの原因)

※ 本製品は、安全に関する知識や経験が少ない方の使用は想定しておりません。お子様、乳幼児、取り扱いに不慣れな方が近くにいるときは、必ず操作できる大人が付き添ってください。また、子供が機器(電源コード含む)で遊ばないように監視してください。



穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない

(火災、感電、けがの原因)

※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

豆ホッパー(グラインダー)やパウダー投入口に液体を入れない

(火災、感電の原因)

注意



長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)

お手入れは必ず各部が冷えてから行う

(やけど、けがの原因)



他の用途で使用しない

(火災、感電、けがの原因)

火気の近くや直射日光が長時間あたる場所で使用しない

(火災、感電の原因)

- 熱源の近くで使用しない
- 屋外や湿気の多い場所で使用しない

抽出中や給湯中にトレイを取り外さない

(やけどの原因)



使用中および使用後しばらくは抽出口やミルクノズル、給湯ノズルに触れない

(やけどの原因)

- 抽出中やお湯、蒸気を出している最中に抽出口や蒸気が出る場所に顔などを近づけない

お手入れのとき以外は豆ホッパーの中に指などを入れない

(けがの原因)

電源の入切をするための部品(外部タイマーなど)やその他の製品、部品、遠隔操作システムなどを組み合わせて使用しない

(火災、感電の原因)

本製品を業務用で使用しない

(火災、感電の原因)

※ 本製品は次の用途を含む家庭用電気製品です。使用者が必要なときに読めるよう、手の届く所に本書を保管してください。

- ・店舗、事務所、仕事場などのスタッフ用キッチン
- ・ファームハウス
- ・ホテル、旅館、民宿などの宿泊施設

Bluetooth機能(リモート機能)使用時について



Bluetooth機能を使用する場合は、心臓ペースメーカーを装着している人は、心臓ペースメーカーの装着部位から本製品を15cm以上離す

※ 本製品からの電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



Bluetooth機能は、病院など無線機能の使用が禁止されている場所で使用しない

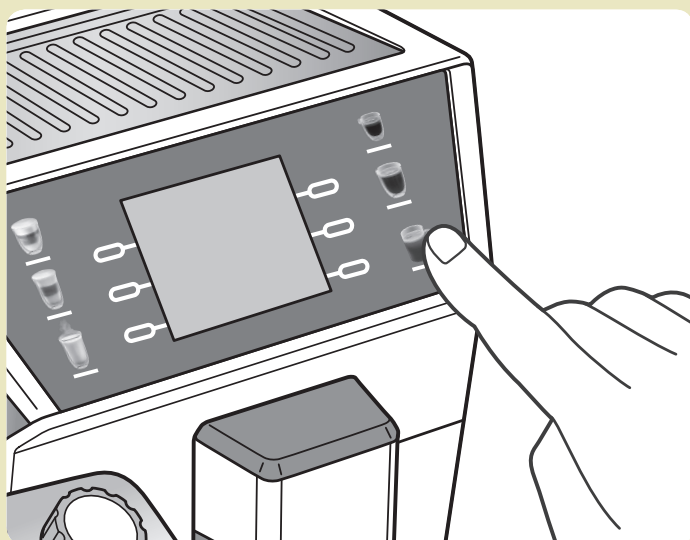
※ 本製品からの電波が医療用電気機器に影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

製品本体が見えない場所からリモート操作をしない

※ 電波が届く場合でも本製品が直接見えない位置からはリモート操作をしないでください。予期せぬ危険や事故の原因となるおそれがあります。リモート操作をする際には事前に周辺の安全を確認し、必ず本製品が見える位置から操作してください。

コーヒーマシンのご紹介

コーヒーマシンでできること



ワンタッチで挽きたて本格コーヒー

3.5 インチカラー液晶を搭載した操作しやすくスタイリッシュなデザイン。

豊富なメニューバリエーションを楽しめます。

Coffee Link アプリ対応

手元でコーヒーマシンを操作し、細やかなカスタマイズやコールセンターへの問い合わせができます。また、コーヒーの基礎知識をご紹介します。

 のマークのある項目は Coffee Link アプリから操作できます。必ず本製品が見える位置から操作を行ってください。

無限に広がるコーヒーの世界をこれ一台で

ラテクレマシステムで、ふわふわミルクも簡単。カプチーノやカフェラテはもちろん、カフェで飲むようないろいろなメニューが楽しめます。



最適な抽出技術で理想的なエスプレッソ

まるでバリスタが入れたような、ふかふかなクレマ（表面を覆う細かい泡）を実現。グラニュー糖を載せてもすぐには沈まない厚みのあるクレマが、エスプレッソの香りを包み込みます。



日本限定メニュー「カフェ・ジャポネ」



ハンドドリップのように豆を蒸らしながら抽出する深蒸しレギュラーコーヒー機能。エスプレッソの旨味とドリップのすっきりした後味が融合した日本人好みのメニューです。

※イラストはイメージです。実際の抽出方法とは異なります。

お好みのコーヒーにカスタマイズ

コーヒーの濃さ（1回に挽く豆量）や抽出量、抽出温度を選べます。あなただけのカスタマイズメニューを簡単に設定でき、そのメニューをプロフィールに保存できます。

自動洗浄で内部はいつも清潔

自動はコーヒーの抽出だけではなく。コーヒーマシンの電源を入れたとき、切るときには自動で内部を洗浄するので、前回の汚れを気にする必要がありません。



一般的な全自動コーヒーマーカー

デロンギ全自動コーヒーマシン

コーヒーをいれるまでの流れ

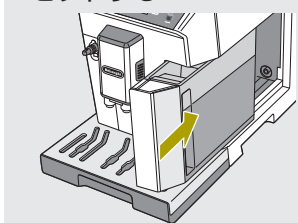
初めてお使いになる前の準備

本体内部の空気抜き
(12 ページ)

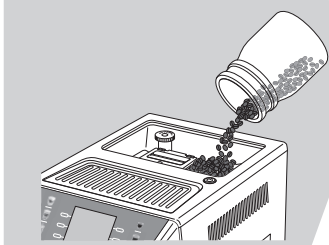
水硬度の確認
(13 ページ)

コーヒーをいれるときの流れ (16 ページ)

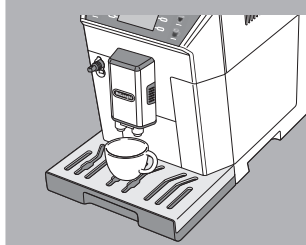
水タンクに水を入れて
セットする



コーヒー豆を入れる



カップをセットする



コントロールパネル
のドリンクボタン、
またはドリンクメ
ニューからコーヒー
を選びセクターを
押す

コーヒー粉でいれることもできます。(20 ページ)

コーヒーマシンのご紹介 (つづき)

こんなメニューが作れます

ワンタッチ (コントロールパネル) で抽出できるメニューは、通常のエスプレッソと、スペシャルティ、カフェ・ジャポネ、カプチーノ、ラテマキアート、ミルクの6種類。

「ドリンクメニュー」からはドッピオ+など、コーヒーやミルクメニューが8種類、最適なお湯の温度で楽しめる「お茶メニュー」をいれられます。

また、スチームで牛乳をお好みで泡立て、オリジナルメニューを作することもできます。

コーヒーマニュー

〔コントロールパネルからワンタッチ抽出〕

エスプレッソ

イタリアの伝統的コーヒーの代表格。濃厚で深い味わいの香り豊かなコーヒー。さまざまなバリエーションのベース。



スペシャルティ

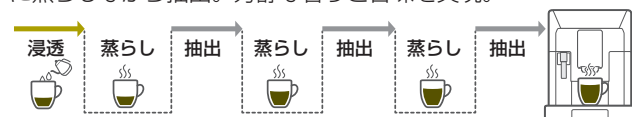
フルーティー※¹なライトコーヒー。豆のテロワール※²を最大限に表現し、すっきりした繊細な味わいを演出。

※¹ で使用される豆により異なります ※² 産地特徴



カフェ・ジャポネ

深蒸しレギュラーコーヒー機能。豆をハンドドリップしたように蒸らしながら抽出。芳醇な香りと旨味を実現。



〔ドリンクメニューから抽出〕

ドッピオ+

コーヒー豆を贅沢に使用した、香り高く濃密なコーヒー。力強い風味で余韻が長く続くのが特長。



アメリカーノ

エスプレッソにお湯を注いで作ります。



ミルクメニュー

〔コントロールパネルからワンタッチ抽出〕

カプチーノ

「イタリアの僧侶の頭巾」という意味から名付けられたカプチーノ。エスプレッソにフロスミルクをたっぷり加えて作ります。



ラテマキアート

マキアートはイタリア語で「染み」という意味。エスプレッソにフロスミルクを注いで作ります。



ミルク

フロス調整つまみによりお好みでスチームミルクやフロスミルクを作ります。

〔ドリンクメニューから抽出〕

カフェラテ

エスプレッソにたっぷりのスチームミルクを加え、仕上げに少量のフロスミルクを表面に浮かび上がるように注いで作ります。



フラットホワイト

多めのエスプレッソに、フロスミルクを注いで作る、オーストラリアやニュージーランドで人気のメニュー。コーヒーの味が強いのが特徴です。



カプチーノ+

濃密さとフレーバーの余韻を残す、ドッピオ+をベースに作られる香り高いカプチーノ。

カプチーノ MIX

エスプレッソの後にフロスミルクを注ぐことで、ミルクとコーヒーのフレーバーが調和します。

エスプレッソマキアート

エスプレッソの後にフォームミルクが馴染んで、まろやかさを演出。

材料と道具を用意しましょう

おいしいエスプレッソのために

コーヒー豆

エスプレッソ用として売られているものや、やや深煎りのコーヒー豆（ハイロースト、シティロースト、フルシティローストなど）がよいでしょう。

挽いてあるコーヒー豆を使う場合は、極細挽きや細挽きが適しています。



ご注意

- インスタントコーヒー、ココアパウダーはお使いいただけません。
- 過度に油分の多いコーヒー豆は、豆を挽くグラインダーに引き込まれにくくなることがあるため、使用を避けてください。
- フレーバーコーヒーを使う場合は、あらかじめ挽いたもの（粉）をお使いください。

水

水道水や軟水（硬度：90mg/L 以下）のミネラルウォーターが適しています。

ご注意

- 硬水を使用すると、カルキ分が詰まりやすくなり、故障の原因となる場合があります。
- ミネラルウォーターや浄水器を通した水を使用する場合は、残留塩素の殺菌効果がないため、カビなどが発生しやすくなります。衛生上、各部の定期的なお手入れ（34 ページ）を必ず行ってください。



カップ

厚みがあり、底がすばまった形のものが、冷めにくくおすすめです。

エスプレッソには、容量 60mL 前後のものが適しています。

カプチーノには、高さ 12cm 以内で容量 180mL 前後のものが適しています。



カプチーノやカフェラテを作るときは

牛乳

成分無調整で、乳脂肪分 3.0% 以上の新鮮でよく冷えた牛乳をお使いください。

牛乳は使う直前まで冷蔵庫に入れておきましょう。



ミルクジャグ

口径が小さく、深めで、使う牛乳の倍の容量のあるものをご用意ください。

手で温度を感じやすい厚手のステンレス製がおすすめです。



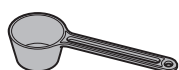
はじめにご確認ください

必ず「安全上のご注意」を確認してください

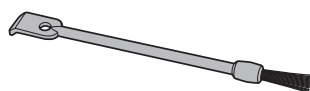
本体を設置する前に「安全上のご注意」（2 ページ）をお読みください。

付属品を確認してください

以下の付属品がすべて揃っているか確認してください。万一、付属されていない場合は、お求めの販売店、または当社（50 ページ）にご相談ください。



計量スプーン



クリーニングブラシ



水硬度チェッカー

初めてお使いになるときに使用します。
「水硬度の確認」（13 ページ）をご覧ください。



ウォーター
フィルター

マシン内部への石灰分の付着を軽減します。
「ウォーターフィルターの取り付けかた」（14 ページ）をご覧ください。



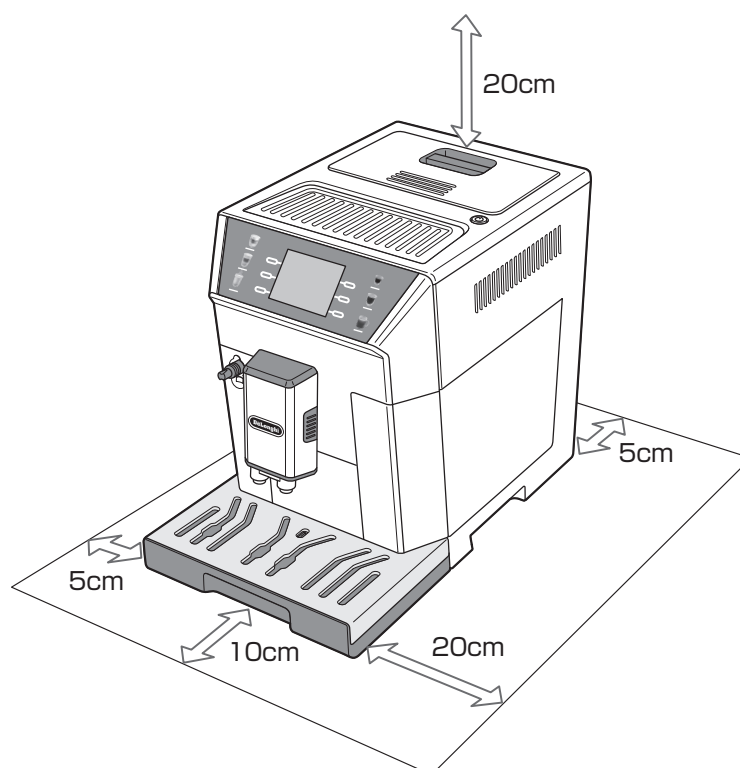
コーヒーマシン用
除石灰剤

水に含まれる石灰成分を除去するために使用します。
「石灰を除去する」（40 ページ）をご覧ください。

設置スペースを確認してください

本製品は、左側と背面側を 5cm 以上、右側と上部を 20cm 以上空けて設置してください。

室温が 0℃ 以下になる場所には設置しないでください。製品内に残る水分の凍結により、故障の原因となることがあります。



各部のなまえとはたらき

ご使用前に保護フィルムなどを取り除いてください。

本製品は、水とコーヒー豆を使った抽出試験を工場で行って出荷されているため、本体内部に水滴跡やコーヒーのカスが付着していることがあります。汚れが気になる場合は、ご使用前に「お手入れ」(34 ページ)をご覧ください。汚れた部分を洗ってください。

本体正面

スチーム管

ミルクコンテナや給湯ノズルを取り付けます。

ミルクコンテナ

牛乳を使うときにセットします。(11 ページ)

給湯ノズル

お湯やスチームを出すときに取り付けます。

取り外しボタン

スチームノズル

フロッサー

取り外し方は 35 ページをご覧ください。

トレイを取り外した状態

水滴受け

トレイを取り外しているときに水滴を受けます。手前に引くと取り外せます。

コーヒー粉受け

グラインダーの粉排出口に付着したコーヒー粉を受けます。

電源ボタン

電源の入/切をします。

コントロールパネル

コーヒーの抽出操作や設定を行います。(11 ページ)

抽出口取っ手

抽出口を上下させるときにつかみます。

抽出口

カップに合わせて、高さを調節できます。

トレイ

内部洗浄で排出される水などがたまります。手前に引き出すと、外せます。

カス受け

抽出後のカスを受けます。上に持ち上げると外せます。

カップ受け

カス受けを取り外した状態で上に持ち上げると外せます。

水位計

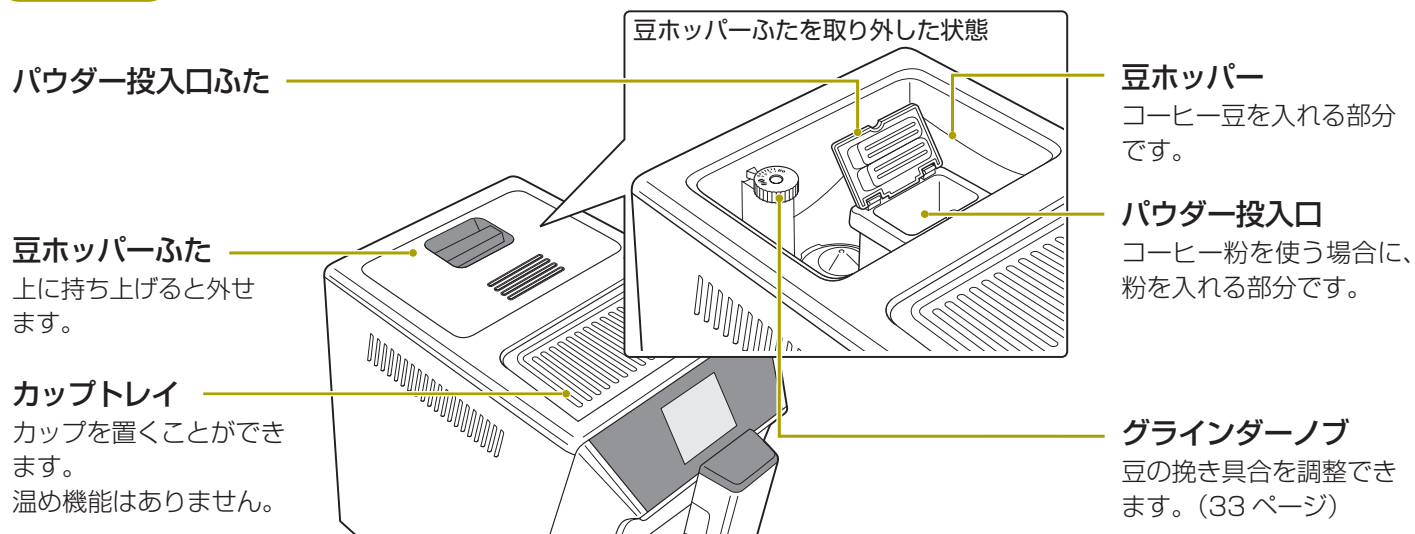
カップ受けの穴から先端が出てきたら、トレイの水を捨ててください。

はじめにご確認ください

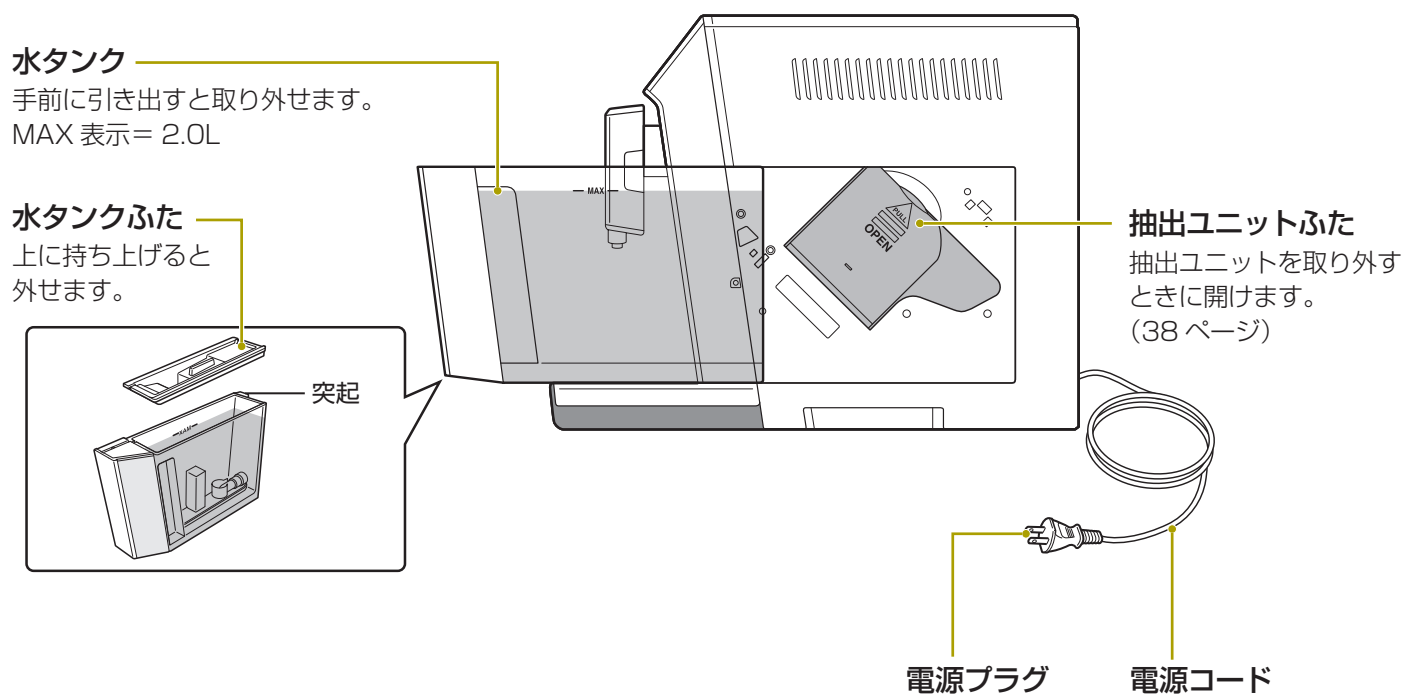
各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらき (つづき)

本体天面

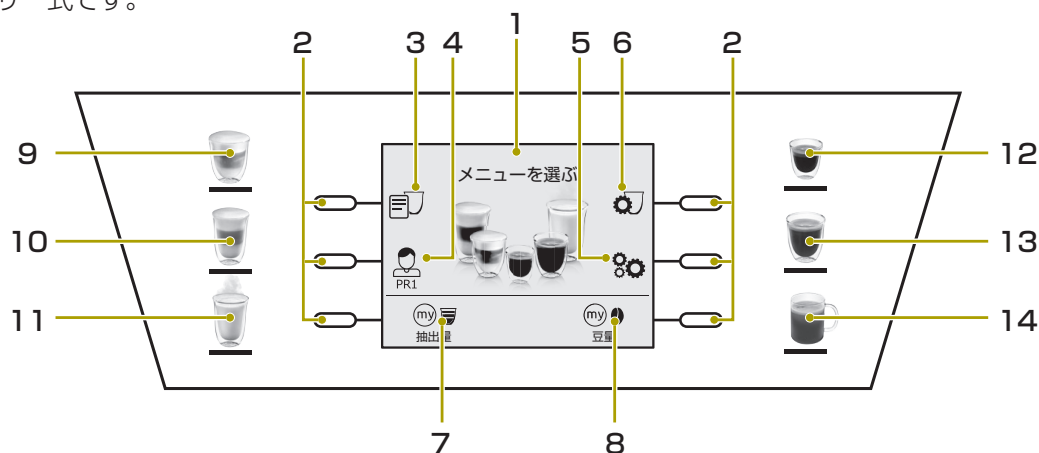


本体側面



コントロールパネル

※ タッチセンサー式です。

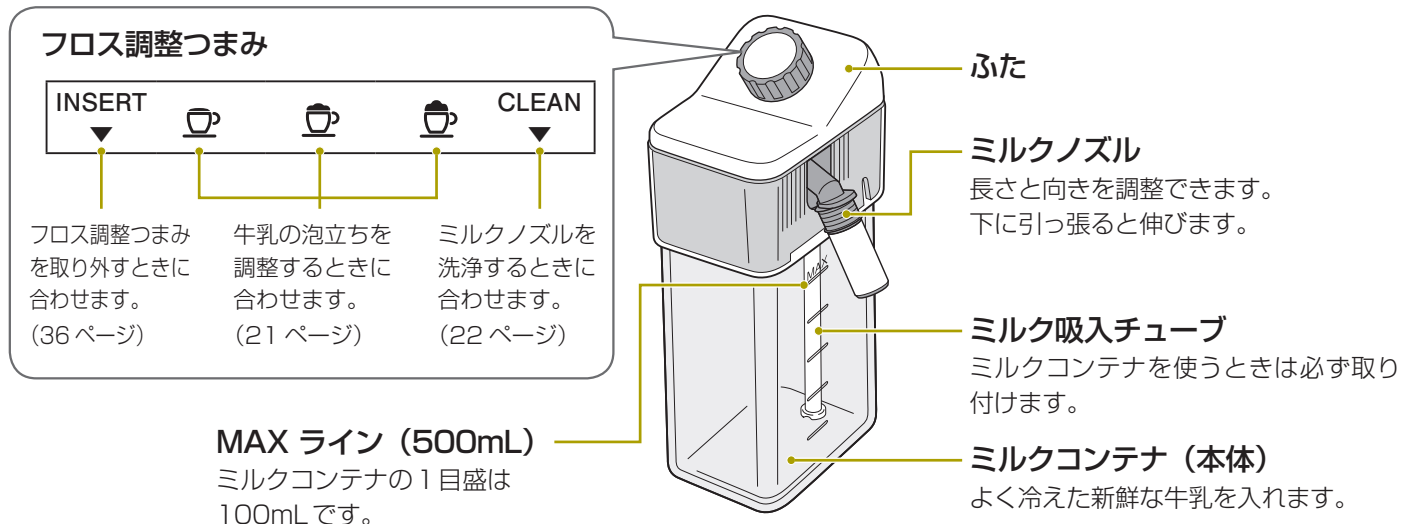


番号	名称	説明	番号	名称	説明
1	液晶ディスプレイ	本体の設定や状態をテキストとイラストで表示します。(42 ページ)	9	カプチーノ	カプチーノを抽出します。(21 ページ)
2	セレクトター	液晶ディスプレイの表示を実行するために対応したセレクトターを押します。	10	ラテマキアート	ラテマキアートを抽出します。(21 ページ)
3	ドリンクメニュー	ドoppio+、カプチーノ MIX、カプチーノ+、カフェラテ、フラットホワイト、エスプレッソマキアート、アメリカーノ、エスプレッソ X2、スチーム、給湯、お茶メニュー、を選択します。	11	ミルク	ホットミルクを作ります。(21 ページ)
4	プロフィール	プロフィールアイコンを選択します。	12	エスプレッソ	エスプレッソを抽出します。(19 ページ)
5	設定	便利な機能を設定します。(28 ページ)	13	スペシャルティ	スペシャルティを抽出します。(19 ページ)
6	カスタマイズ	プロフィールごとにドリンクの豆量や抽出量を定量設定します。(26 ページ)	14	カフェ・ジャポーネ	カフェ・ジャポーネを抽出します。(19 ページ)
7	抽出量 (サイズ)	抽出量を設定します。(19 ページ)			
8	豆量 (テイスト)	コーヒーの濃さを設定します。(19 ページ)			

各部のなまえとあらき (つづき)

ミルクコンテナ

カプチーノなどのミルクメニューを作るときにスチーム管に取り付けます。



初めてお使いになる前に必ずすること



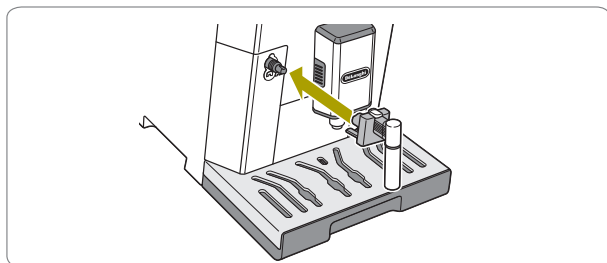
初めてお使いになるときは、必ず「空気抜き」と「水硬度の確認」を行ってください。

空気抜き

1 電源プラグをコンセントに差し込む

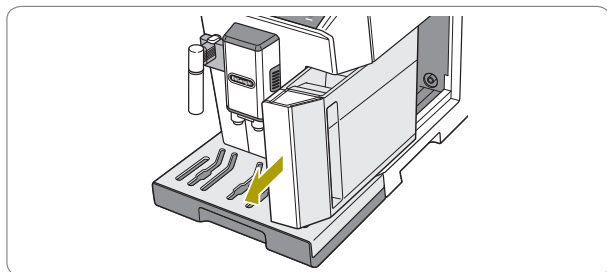
2 給湯ノズルを本体に取り付ける

しっかり奥まで差し込んでください。



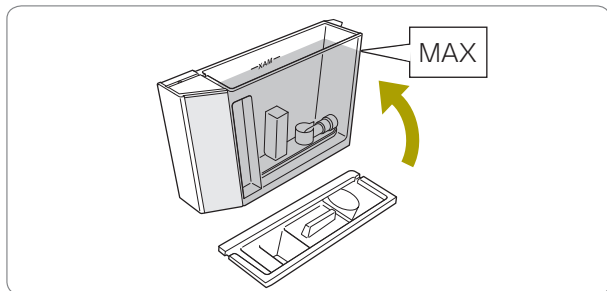
3 水タンクを手前に引いて取り外す

水タンクは取り扱いに注意してください。破損すると、水漏れや動作不良の原因になります。



4 水タンクに水を入れる

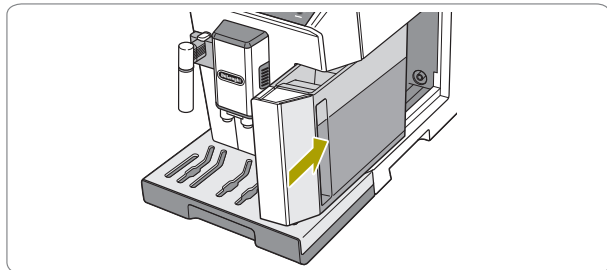
「MAX」の目盛りまで水を入れ、ふたをします。



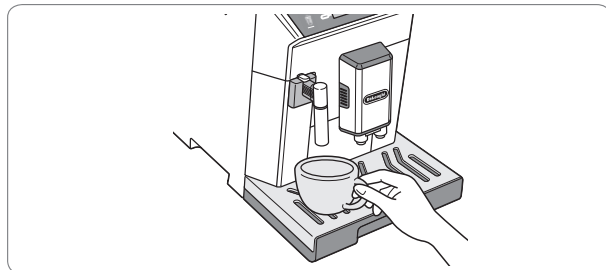
ふたの前後の向きが逆の場合、水タンクが正しく取り付けられません。

5 水タンクを本体に取り付ける

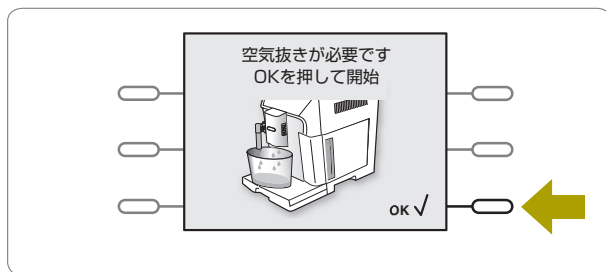
しっかり奥まで差し込んでください。



6 給湯ノズルの下に、容量 100mL 以上のカップを置く



7 液晶ディスプレイの「空気抜きが必要です OK を押して開始」の表示に従い OK ✓ のセレクトキーを押して空気抜きを開始する



給湯ノズルから水が出ます。

空気抜きを開始して水が出ている間は、大きな音がしますが、故障ではありません。空気が抜けると音は小さくなります。

空気抜きが完了すると、水が止まり自動的に電源が切れます。

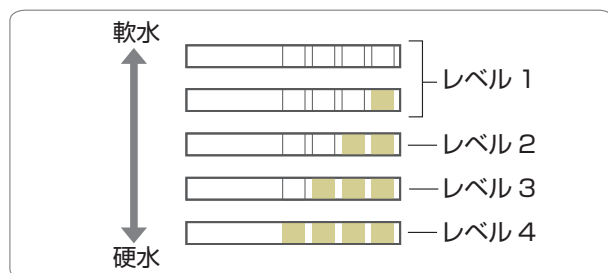
知っておいていただきたいこと

普段の使用時に、大きな音がしてコーヒーやお湯が出ない場合は、本体の水経路に空気が入っている可能性があります。その場合は、空気を抜くためにドリンクメニューから「給湯」を選択し、給湯を行ってください。(25 ページ)

水硬度の確認

お使いになる水の硬度レベルが高い（硬水）の場合、水の石灰分が内部管などに付着しやすくなります。本製品は、石灰分の除去が必要な時期になると、液晶ディスプレイの表示でお知らせします。（45 ページ）水硬度レベルによってお知らせする頻度が変わりますので、あらかじめ水硬度を確認してください。お買い上げ時には、水硬度レベルは 1 に設定されています。お使いになる水の硬度レベルが 2 以上の場合は、「水硬度を設定する」をご覧ください。（29 ページ）

- 1** お使いになる水に、水硬度チェッカーを約 1 秒間浸す
- 2** 水硬度チェッカーを取り出して軽く振り、約 1 分間待つ
- 3** ピンク色になった四角の数で、水硬度レベルを確認する



初めてお使いになる前に必ずお読みください

初めてお使いになる前に必ずすること(つづき)

ウォーターフィルターの取り付けかた

ウォーターフィルターはマシン内部への石灰の付着を軽減します。本製品はウォーターフィルターの交換が必要な時期になると液晶ディスプレイの表示でお知らせします。(45 ページ)



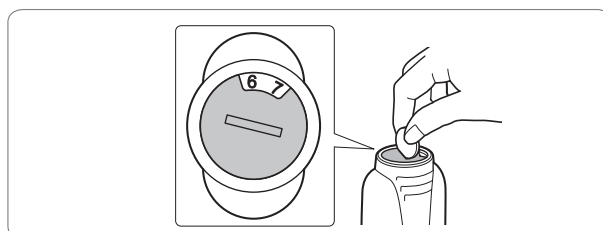
- 湿気の少ない冷暗所で保管し、開封後はすぐに使用する
- 石灰の除去をする前に取り外す

- 1** メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する



- 2** 「ウォーターフィルター」のセクターを押し

- 3** フィルター上部のカレンダーディスクを回し、数字(使用開始月)を左側に合わせ、NEXT > のセクターを押し



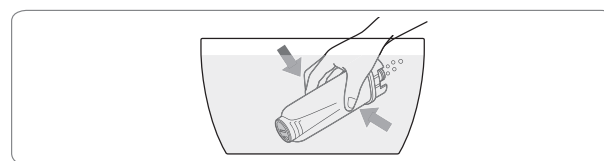
左(6月)が使用開始月で、右(7月)が次の交換月の目安です。

- 4** 側面の開口部から水が出るまで、フィルターの穴に1分以上水道水を流し、NEXT > のセクターを押し

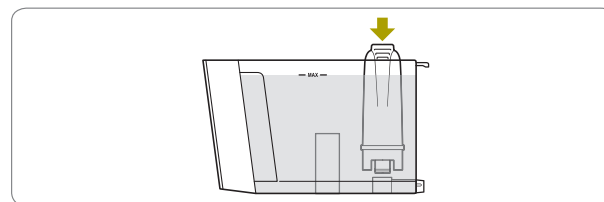
- 5** コーヒーマシン本体から水タンクを取り外し、水を入れる

- 6** 水を入れた容器にフィルターを入れ、フィルターから空気が抜けるように傾け、約10秒間完全に沈め空気を抜き、NEXT > のセクターを押し

水タンクの中で空気を抜くこともできます。



- 7** 水タンクのウォーターフィルター取り付け部に奥までしっかり差し込み、NEXT > のセクターを押し

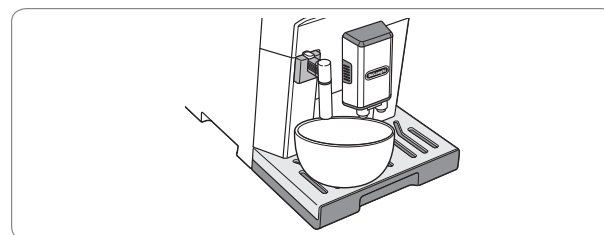


- 8** 水タンクにふたをして、本体にセットする

- 9** 容量500mL以上の容器を給湯ノズルの下に置き、OK ✓ のセクターを押し

給湯ノズルからお湯が出ます。

お湯が止まると、ウォーターフィルターの設定が完了し、マシンが使用できるようになります。



フィルターの交換について

以下のようなときは交換が必要です。

- ディスプレイに「フィルターを交換してください」と表示された
- 使用開始から2か月経った(カレンダーディスク 手順**3**参照)
- 本製品を3週間以上使用しなかった

※ 石灰の除去を行う際には、必ずフィルターを取り外してください。

すぐ交換するときは、OK ✓ のセクターを押し、上記手順**2**の後、「フィルターの交換」を選択する
あとで交換するときは、ESC のセクターを押してキャンセルする

Bluetooth 機能について

De'Longhi Coffee Link アプリを使用して、さまざまな機能をリモートで操作できます。

 のマークのある項目は Coffee Link アプリから操作できます。必ず本製品の見える位置で、事前に周辺の安全性を確認してから操作を行ってください。

用意するもの



スマートフォンや
タブレット端末



DE'LONGHI
Coffee Link
App

- 対応機種：iOS、Android™ 端末
- 対応 OS：詳しくは下記 URL をご確認ください。
URL <https://barista.delonghi.co.jp/ecam/howtouse>

初期接続をする

「De'Longhi COFFEE LINK」と検索し、専用アプリをダウンロードし、インストールしてください。
アプリは無料です。ただし、アプリのダウンロードやサービスのご利用には、別途通信料がかかります。

1 専用アプリをダウンロードし、インストールする



iOS の場合



Android™ の場合



■商標について

- Apple、Apple ロゴ、iPhone、iPad は米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android、Google Play、Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- その他記載されている会社名・商品名は、各社の商標、登録商標です。

初めてお使いになる前に必ずお読みください

2 アプリを起動し、本製品とスマートフォンなどの端末を接続する

本製品の最大通信距離は約 10m です。本製品と端末の間に障害物がない状態で行ってください。障害物や周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。使用可能距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

1. 電源プラグをコンセントに差した状態で専用アプリを起動する
2. ログイン画面が表示されたら、画面の指示に従って登録する
3. 本製品と接続する

※ 通信接続の許可を求められたときは、「許可」を選択してください。

本製品は 2.4GHz の周波数帯の電波を使用しています。この周波数帯の電波は、電子レンジ、無線ルーター、コードレス電話などの機器で使用されている為、電波干渉により通信に不具合が発生する可能性があります。

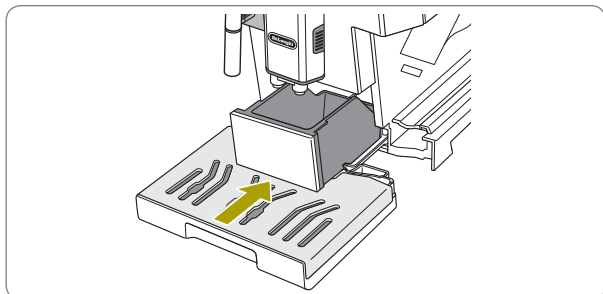
免責事項

第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

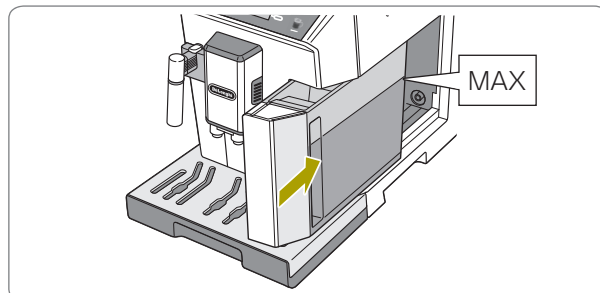
抽出前の準備をする

トレイと水タンクをセットする

- 1 トレイにカス受けをセットし、本体に取り付ける



- 2 水タンクの「MAX」の目盛りまで水を入れ、ふたをして本体に取り付ける



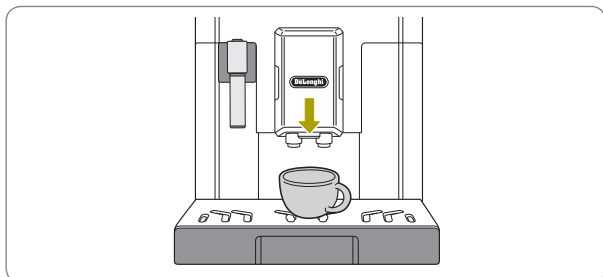
電源を入れる（自動内部洗浄）



本製品は、電源を入れるたびに自動で内部を洗浄します。

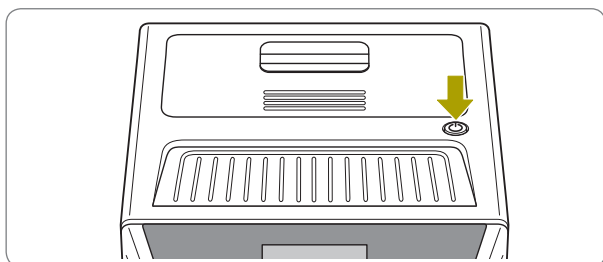
電源を入れる前に、水タンクに水を入れてください。水がないと、内部洗浄が行われず電源が入りません。

- 1 カップを置き、抽出口を下げてもカップに近付ける



- 2 本体上部の電源ボタンを押す

液晶ディスプレイに「予熱中 しばらくお待ちください」と表示され、予熱を開始します。



予熱が完了すると液晶ディスプレイに「内部洗浄中 しばらくお待ちください」と表示され、抽出口からお湯が出ます。



熱湯が出るので注意する（やけどの原因）

内部洗浄中は、本体操作はできません。

自動内部洗浄が終了するとお湯が止まり、液晶ディスプレイにメイン画面が表示されます。カップのお湯は捨ててください。

電源の切りかた(自動内部洗浄)

電源を切るときにも、毎回自動で内部を洗浄します。

ただし、電源を入れた後 1 杯も抽出しなかった場合は、電源を切っても内部洗浄は行われません。

1 カップを置き、抽出口を下げてカップに近付ける

2 本体上部の電源ボタンを押す

液晶ディスプレイに「電源をオフにしています しばらくお待ちください」と表示され内部洗浄が始まり、抽出口からお湯が出ます。

お湯が止まり内部洗浄が終わると電源が切れます。

長期間使わないときは

長期間使用しない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

内部洗浄について

- 本体が温まっているときは、自動で内部洗浄されないことがあります。
- 内部洗浄を行うと、カス受けに水がたまるありますが、異常ではありません。
- オートオフ機能（28 ページ）で電源が切れるときも、そこから電源を入れ直すときも、内部洗浄は行われます。電源を入れたままにしておくときは、カップなどをセットしておいてください。

電源の入／切時以外に内部洗浄を行うには

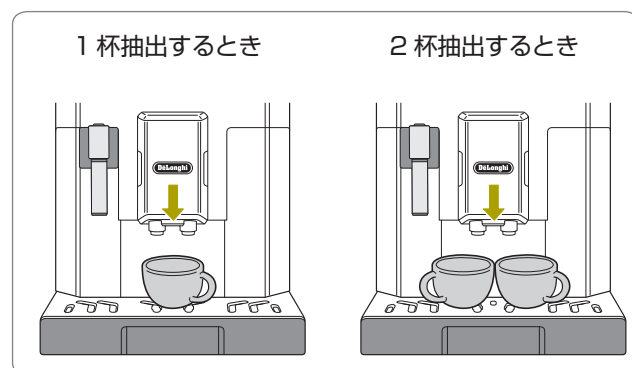
電源が入っているときは、いつでも内部洗浄を行うことができます。操作のしかたは、「手動内部洗浄を行う」をご覧ください。（30 ページ）

カップをセットする

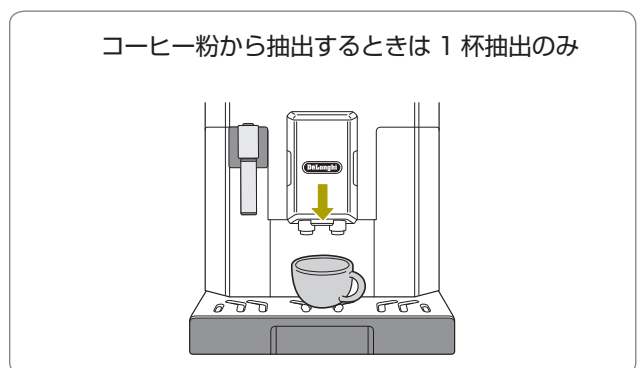
1 カップ受けにカップを置く

2 抽出口を下げてカップに近付ける

コーヒー豆を使う場合



コーヒー粉を使う場合



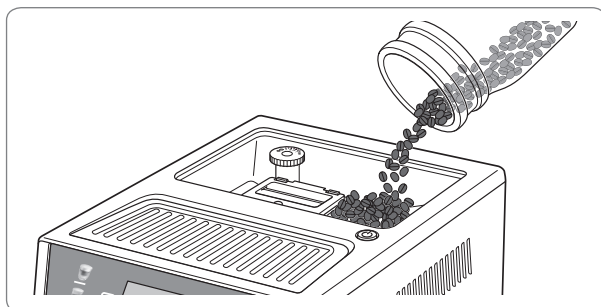
抽出前の準備をする(つづき)

コーヒー豆（またはコーヒー粉）を入れる

コーヒー豆を使う場合

- 1 豆ホッパーふたを取り外す
- 2 豆ホッパーにコーヒー豆を入れる

目安量より多めに入れてください。



目安量

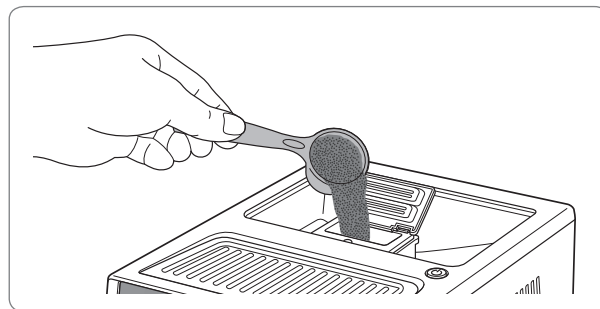
- エスプレッソ(1杯:約6～11g 2杯:約10～14g)
- スペシャルティ:約8～14g
- カフェ・ジャポネ:約10～18g
- アメリカーノ:約6～11g
- ドッピオ+:約15g

数値は目安です。お使いになるコーヒー豆の状態や挽き具合の設定によって、挽かれる豆の量は変わります。

- 3 豆ホッパーふたを取り付ける

コーヒー粉を使う場合

- 1 豆ホッパーふたを取り外し、パウダー投入口ふたを開ける
- 2 パウダー投入口にコーヒー粉を入れる



目安量

計量スプーンすり切り～山盛り1杯
(約6～11g)

山盛り1杯を超える量はいれないでください。



電源が切れているときはコーヒー粉を入れない(粉が内部で飛び散ります)

- 3 パウダー投入口ふたを閉じ、豆ホッパーふたを取り付ける

コーヒーを抽出する

コーヒー豆から抽出する場合



抽出前の準備（16 ページ）を行って、液晶ディスプレイにメイン画面が表示された状態で始めてください。

1 「豆量」のセクターを押し、コーヒーの濃さを設定する



押すたびに以下のとおり濃さが切り替わります。

MY テイスト	EX マイルド	マイルド	スタンダード	ストロング	EX ストロング	コーヒー 粉
my 0	0	00	000	0000	00000	☞

薄い (少ない) ← 豆からの抽出 → 濃い (多い) 粉からの抽出時に選択

コーヒー豆から抽出するときは ☞ の設定はできません。

抽出前の準備をする (つづき)

コーヒーを抽出する

2 「抽出量」のセクターを押し、コーヒーの抽出量を設定する

- 豆量と抽出量の設定は保存されず、次の抽出では初期設定 (MY テイスト / MY サイズ) での抽出となります。
- MY テイストとMY サイズの設定は「プロフィールごとにドリンクをカスタマイズ (定量設定) する」(26 ページ) を参照してください。設定していない場合、MY テイストはスタンダード、MY サイズは M サイズに設定されています。
- ドッピオ+の豆量は初期設定 (約 15g) から変更できません。

押すたびに以下のとおり抽出量 (サイズ) が切り替わります。

MY サイズ	S サイズ	M サイズ	L サイズ	XL サイズ
my ☞	☞	☞	☞	☞

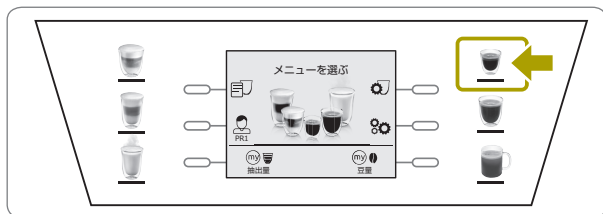
詳細は「抽出量」(48 ページ) を参照してください。

コントロールパネルから直接抽出する

エスプレッソ、スペシャルティ、カフェ・ジャポネはコントロールパネルから直接選択できます。

例) エスプレッソをいれる場合

3 コントロールパネルのエスプレッソを押す



4 液晶ディスプレイに抽出過程が表示される



インジケーターが最後まで進むと自動で停止し、ディスプレイはメイン画面に戻ります。
エスプレッソは2杯抽出することができます。2杯抽出するときは液晶ディスプレイの **x2** のセクターを押してください。

- 2杯抽出の場合、左右のカップに入るコーヒーの量に多少の差が生じることがあります。差が大きい場合は、抽出口の高さを変更して差が軽減されるか試してください。改善されないときは、「故障かな?」(46 ページ) を参照してください。

ドリンクメニューから抽出する

ドッピオ+、アメリカーノ、エスプレッソ X2 はドリンクメニューから選択できます。

3 「ドリンクメニュー」のセクターを押す



4 液晶ディスプレイに「メニューを選ぶ」と表示される

NEXT > のセクターを押すたびにドリンクメニューの画面が切り替わります。

5 お好みのドリンクのセクターを押す

液晶ディスプレイに抽出過程が表示され、コーヒーの抽出が始まり、インジケーターが最後まで進むと自動で停止し、ディスプレイはメイン画面に戻ります。

コーヒーを抽出する(つづき)

コーヒー粉から抽出する場合



抽出前の準備(16 ページ)を行って、液晶ディスプレイにメイン画面が表示された状態で始めてください。

1 「豆量」のセクターを押し、☞ を選択する



コーヒー粉から抽出する場合は、コーヒーの濃さは変えられません。

2 お好みのコーヒーを選択する

液晶ディスプレイに選択したコーヒーが表示され、抽出が始まり、インジケーターが最後まで進むと自動で停止し、ディスプレイはメイン画面に戻ります。エスプレッソ、スペシャルティ、カフェ・ジャポネはコントロールパネルから直接選択できます。アメリカーノはドリンクメニューから選択してください。(19 ページ)

ドoppio+、エスプレッソ X2 はコーヒー粉から抽出しないでください。

カフェ・ジャポネを抽出する

給湯・蒸らしをくり返す間欠抽出を2 回行うため、抽出の途中でコーヒー粉を補充する必要があります。

1 手順 2 の途中で「コーヒー粉をパウダー投入口に入れる」と表示されたら、コーヒー粉を追加する



山盛り 1 杯を超える量はいれないでください。

2 OK ✓ のセクターを押し、抽出を再開する

インジケーターが最後まで進むと自動で停止し、ディスプレイはメイン画面に戻ります。

抽出が終わったら

電源を切る場合は、「電源の切りかた(自動内部洗浄)」(17 ページ)の手順で、電源を切ってください。なお、電源を入れたままにしている場合、オートオフ機能(28 ページ)によって、設定された時間がくると電源が切れます。



ヒント

抽出を途中で止めたいときは

抽出中に **STOPX** のセクターを押します。

- アメリカーノのコーヒー抽出中に押すと、コーヒーの抽出のみ中断され、その後お湯は出ます。
- ミルクメニューのミルク抽出中に押すと、ミルクの抽出のみ中断され、その後コーヒーは抽出されます。(カプチーノ MIX は逆) ドリンクメニューを完全に中止したいときは **ESC** のセクターを押してください。

抽出量を増やしたいときは

抽出終了後(ポンプの動作音が止まった後)、2 秒以内に **EXTRA+** のセクターを押すと、コーヒーが抽出されます。再度 **STOPX** のセクターを押すと抽出が止まります。

より熱いコーヒーをいれるには

エスプレッソの温度は 67 ~ 70℃前後が理想的ですが、より熱くしたいときは次のことをお試しください。

- 抽出温度を高くする(28 ページ)
- 給湯をしてカップを温める(25 ページ)
- 本体内部を温める(30 ページ)

コーヒーを抽出する（つづき）

ミルクメニユーを抽出する

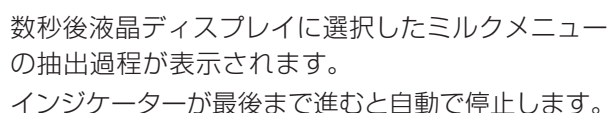
4 カップを置き、ミルクノズルと抽出口を下
げてカップに近づける

A line drawing of a De'Longhi coffee machine. A yellow arrow points to the top of the portafilter handle, indicating where to place the coffee capsule. Another yellow arrow points to the spout of the machine, indicating where the coffee will dispense into a cup. The machine has a water reservoir on the left and a control panel on the right.

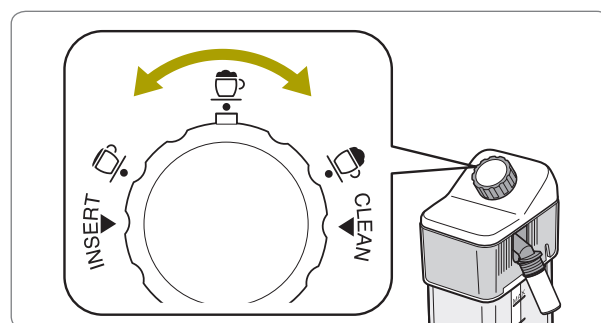
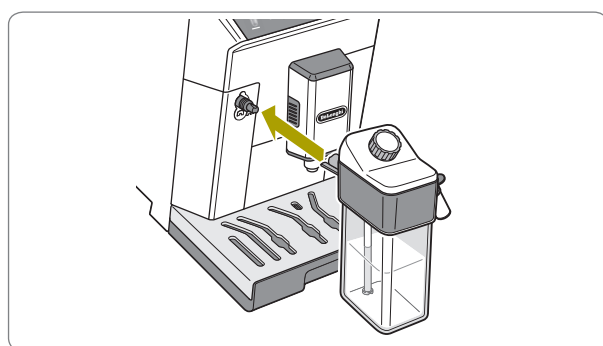


カプチーノ、ラテマキアート、ミルクはコントロールパネルから直接、カプチーノ+、カプチーノ MIX、カフェラテ、フラットホワイト、エスプレッソマキアートはドリンクメニューから選択してください。
(19 ページ)

6 液晶ディスプレイのメッセージに従って、ミルクコンテナのふたにある「フロス調整つまみ」の位置を調整する



3 ミルクコンテナをスチーム管にしっかり差し込む



フロス調整つまみを取り外した状態で
ミルクコンテナを本体にセットしない
(やけどの原因)

		
		
泡が小さい (ミルク温度 が低い)		泡が大きい (ミルク温度 が高い)
スチーム ミルク	フロスミルク 無段階で調整できます。	

- 抽出を途中で止めたいとき、抽出量を増やしたいときは 20 ページを参照してください。

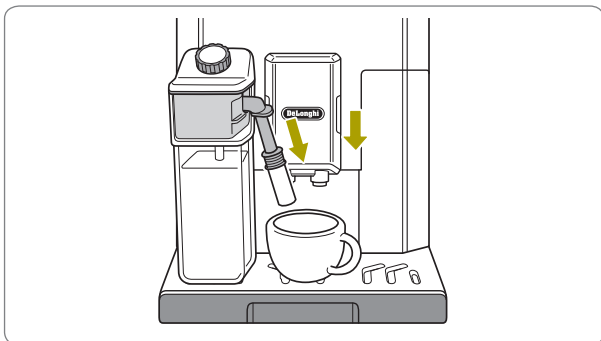
ミルクメニューを抽出する(つづき)

ミルクノズルを洗浄する

牛乳を泡立てたときは毎回行ってください。

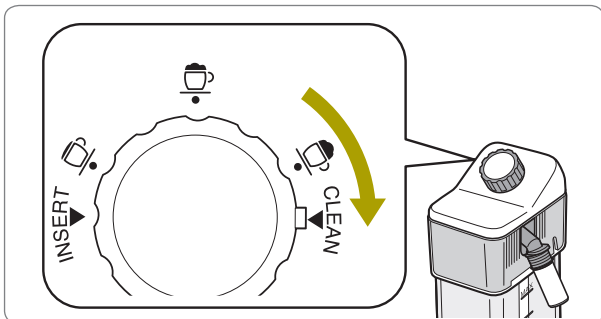
ミルクメニューを抽出後、液晶ディスプレイに「フロス調整つまみを (CLEAN) の位置に合わせる」と表示されます。

- 1** ミルクコンテナを取り付けたまま、ミルクノズルの下に空の容器を置く



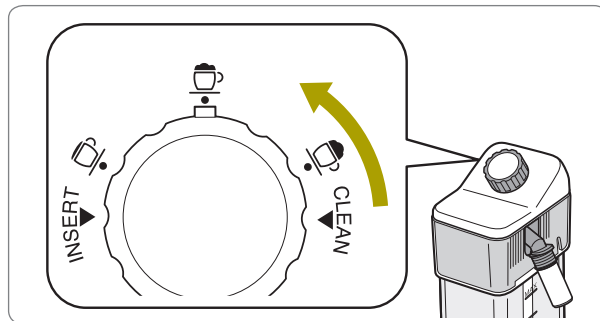
- 2** フロス調整つまみを「CLEAN」に合わせて、洗浄を開始する

熱湯が出てミルクノズルを自動洗浄します。



インジケーターが最後まで進むと自動で停止します。

- 3** フロス調整つまみを「CLEAN」の位置から ☕ ~ ☕ に戻す



衛生を保つため、次のことをお守りください。

- 一日の終わりには、ミルクコンテナに残った牛乳は必ず廃棄し、十分に洗浄してください。(36 ページ)
- すぐに廃棄しないときは、一時的にミルクコンテナを冷蔵庫に入れるなど、衛生面にご注意ください。
- 必ずミルクノズルもお手入れしてください。(36 ページ) スチーム管に付いた牛乳が乾いてかたまってしまうと、故障の原因となります。

以下の場合にトレイから蒸気が出たり、トレイにお湯が少量たまりますが、異常ではありません。

- 牛乳を泡立てた後
- フロス調整つまみを「CLEAN」に合わせてミルクノズルを洗浄した後

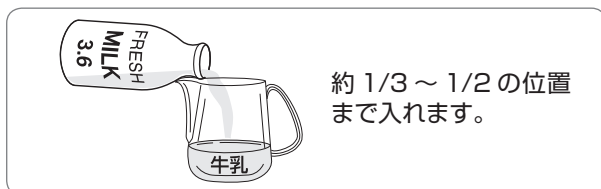
牛乳を泡立てた直後や、ミルクノズルを洗浄した直後に、トレイを引き出さない(お湯が漏れる原因)

スチームで牛乳を泡立てる



スチーム（蒸気）で牛乳を泡立て、カプチーノに入れるフロスミルクを作ることができます。

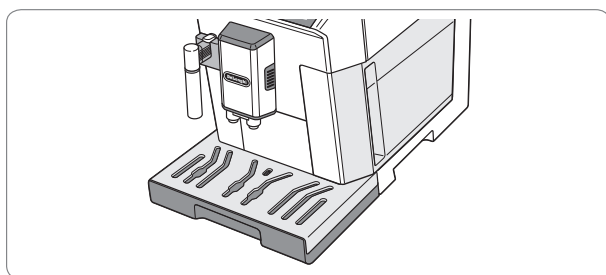
1 牛乳をミルクジャグに入れる



約 1/3 ~ 1/2 の位置
まで入れます。

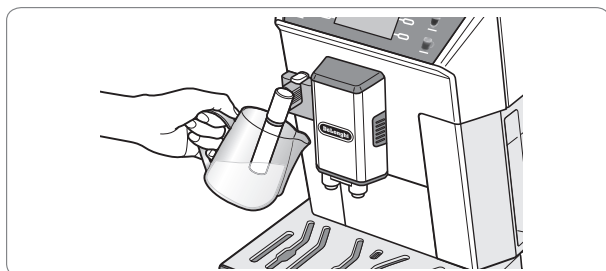
泡立てるとかさが増えるので、牛乳の量はミルクジャグの容量の 1/3 ~ 1/2 程度にしてください。

2 給湯ノズルを取り付ける



給湯ノズルは奥までしっかりと差し込んでください。

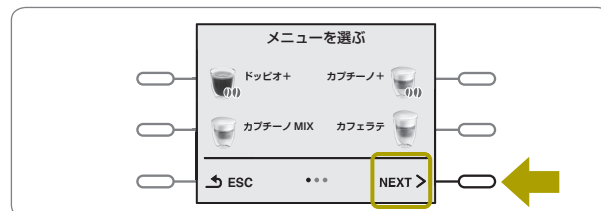
3 ミルクジャグの牛乳に給湯ノズルの先端が浸かるようにする



4 メイン画面の「ドリンクメニュー」のセクターを押す、メニュー画面を表示する



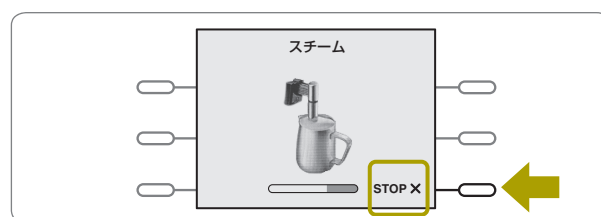
5 液晶ディスプレイに「スチーム」が表示されるまで NEXT > のセクターを押す



6 「スチーム」のセクターを押す、牛乳を泡立てる

液晶ディスプレイにスチームの表示が出て、数秒後に牛乳の泡立てを始めます。

7 お好みの泡ができたなら、STOP X のセクターを押す



スチーム機能が解除されます。

節電モードが設定されている場合、スチームが出るまでに数秒かかることがあります。



- スチームを止める前にミルクジャグを外さないでください。(牛乳が飛び散ってやけどの原因となります)
- スチームは 60 秒以上出さないでください。

温度差によりフロッサー内に水分がたまる場合があります。水分を取り除く場合は、牛乳を泡立てる前に空ぶかしをしてください。

- 1 フロッサーの下に、空のカップを置く
- 2 「ドリンクメニュー」→「スチーム」の順にセクターを押す
- 3 3 ~ 5 秒スチームを出し、STOP X のセクターを押す

ミルクメニューを抽出する（つづき）

スチームで牛乳を泡立てる

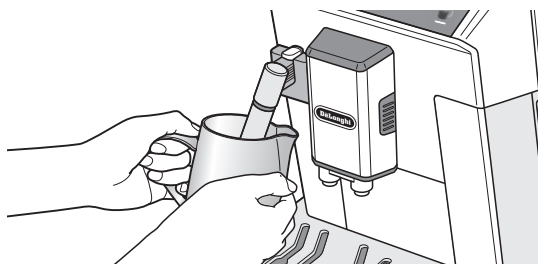
スチームで牛乳を泡立てる (つづき)



ヒント

上手に泡立てるには

- 1 給湯ノズルの先端をミルクジャグの側面に寄せて泡立てる
- 2 牛乳のかさが増えてきたら、給湯ノズルがミルクジャグの中央にくるようにし、「キュルキュル」と音が鳴るところまで先端を牛乳に差し込む
泡と牛乳の境目を探すイメージです。
- 3 ミルクジャグの側面を手で触りながら泡立て、泡がミルクジャグからあふれる手前でスチームを止める
側面が触れられないくらい熱くなるまで (60 ~ 65℃) が目安です。



- 4 台の上に濡れた布巾を敷き、その上でミルクジャグをトントンと上下に叩いて大きい泡を潰し、さらに円を描くようにミルクジャグを回す
きめ細かくクリーミーな泡ができあがります。



動画でのご紹介はコチラ！

URL <https://barista.delonghi.co.jp/mame/movie.html>

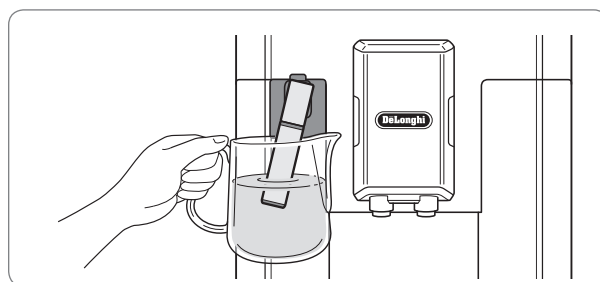


給湯ノズルを洗う

衛生のため、牛乳を泡立てたら毎回必ず、給湯ノズルを洗浄してください。

牛乳のカスのこびり付きや、スチームノズルが詰まるのを防ぎます。

- 1 洗ったミルクジャグに半分ほど水を入れる
- 2 給湯ノズルをミルクジャグの水に浸ける



- 3 ドリンクメニューから「スチーム」を選択する
液晶ディスプレイにスチームの表示が出ます。
- 4 「スチーム」のセレクトターを押す
スチームが出ます。
- 5 約10秒後、STOPXのセレクトターを押す
- 6 給湯ノズルを布巾で拭く

以下の場合にトレイから蒸気が出たり、トレイにお湯が少量たまったりしますが、異常ではありません。

- 「スチーム」のセレクトターを押し、スチームを出す準備をしているとき
- スチーム使用直後に内部洗浄をしたり、コーヒーを抽出したりしたとき

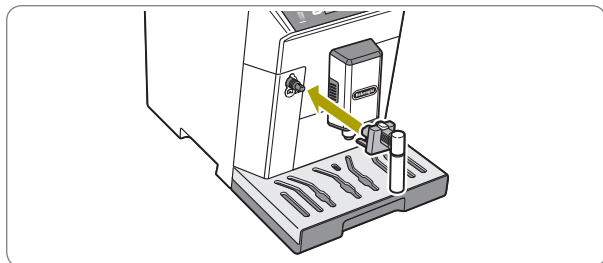
本製品は、いつでもコーヒーやスチームを出せるようにボイラーの圧を調整しているため、圧抜きの水がトレイに排出されます。コーヒーの抽出量に異常がなければ故障ではありません。トレイの水は定期的に捨ててください。

紅茶／お茶をいれる



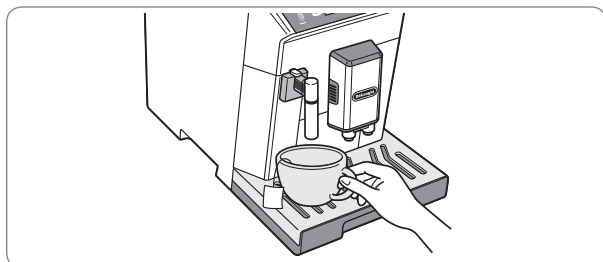
給湯ノズルを使って適温で紅茶やお茶が楽しめます。

1 給湯ノズルを取り付ける



給湯ノズルは奥までしっかりと差し込んでください。

2 カップにティーバッグを入れ、給湯ノズルの下に置く



3 メイン画面の「抽出量」のセクターを押し、抽出量を設定する



セクターを押すたびに S サイズから XL サイズへと 4 段階で切り替わります。抽出量の設定は保存されず、次の抽出では初期設定 (M サイズ) での抽出となります。

- MY サイズの設定は「プロフィールごとにドリンクをカスタマイズ (定量設定) する」(26 ページ) を参照してください。

4 「ドリンクメニュー」のセクターを押し、メニュー画面を表示する



5 液晶ディスプレイに「お茶メニュー」が表示されるまで NEXT > のセクターを押す



6 「お茶メニュー」のセクターを押す

7 お好みのお茶メニューのセクターを押す

液晶ディスプレイに選択したメニューが表示され、適温のお湯が出ます。

メニュー名	お湯の温度 (約)
白茶	75℃
緑茶	80℃
烏龍茶	85℃
紅茶	90℃

インジケーターが最後まで進むと自動で停止し、ディスプレイはメイン画面に戻ります。

給湯機能

カップの湯煎など、お湯の温度を設定せずに給湯する場合

1 給湯ノズルの下にカップを置く

2 「ドリンクメニュー」のセクターを押し、メニュー画面を表示する

3 液晶ディスプレイに「給湯」が表示されるまで NEXT > のセクターを押す

4 「給湯」のセクターを押す

給湯ノズルからお湯が出ます。

インジケーターが最後まで進むと自動で停止し、ディスプレイはメイン画面に戻ります。

スチームで牛乳を泡立てる (つづき)

お茶／紅茶をいれる

抽出を途中で止めたいとき、抽出量を増やしたいときは 20 ページを参照してください。
節電モードが設定されている場合、お湯が出るまでに数秒かかることがあります。

プロフィールごとにドリンクをカスタマイズ(定量設定)する

プロフィールごとに、コーヒーの豆量、コーヒーや牛乳の抽出量をカスタマイズ（定量設定）できます。
プロフィールは6人まで設定できます。

ドリンクをカスタマイズ（定量設定）する

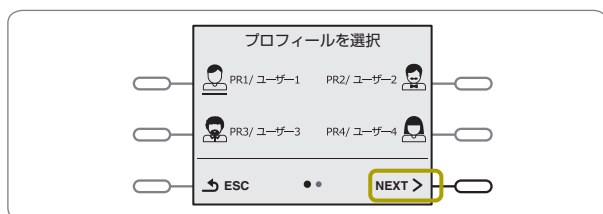
1 抽出口の下に適量のサイズのカップを置く

ミルクメニューを設定するときにはミルクコンテナも取り付けてください。

2 メイン画面の「プロフィール」のセクターを押し、プロフィールを表示する



3 液晶ディスプレイに設定したいプロフィールが表示されるまで NEXT > のセクターを押す



現在のプロフィールには下線が表示されます。

4 設定したい「プロフィール」のセクターを押す

5 メイン画面の「カスタマイズ」のセクターを押す

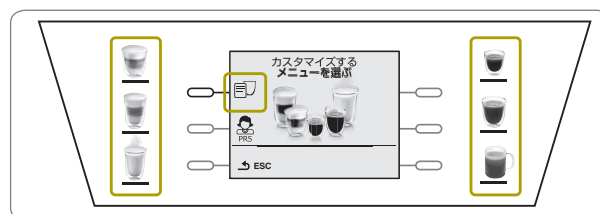


「カスタマイズするメニューを選ぶ」の画面が表示されます。

6 カスタマイズしたいメニューを選ぶ

エスプレッソ、スペシャルティ、カフェ・ジャポネ、カプチーノ、ラテマキアート、ミルクはコントロールパネルから直接選択できます。

その他のメニューはドリンクメニューから選択してください。（19 ページ）



7 豆量を設定する

— または + のセクターを押して、豆量を設定します。セクターを押すたびに ①（EX マイルド）から ⑤⑤⑤⑤⑤（EX ストロング）へと5段階で切り替わります。

8 OK ✓ のセクターを押し、抽出量を設定する

「コーヒー抽出量を設定します STOP を押して保存する」と表示されます。設定可能な量になると、**STOPX** と表示されるので、お好みの量が抽出されたらセクターを押してください。

抽出量を表すバーの横の★は出荷時の抽出量です。

ミルクメニュー：豆量→ミルク抽出量→コーヒー抽出量

ミルク：ミルク抽出量

アメリカーノ：豆量→コーヒー抽出量→給湯量

お茶メニュー：給湯量

の順で設定します。

9 OK ✓ のセクターを押し、設定を完了する

抽出が止まりディスプレイに「設定した量を保存しますか?」と表示されます。設定する場合は **OK ✓** のセクターを押してください。↵ **ESC** のセクターを押すとキャンセルされます。

10 設定を保存する

「新しい設定を保存しました」と表示されます。**OK ✓** のセクターを押すと、メイン画面に戻ります。

「ゲスト」プロフィールを選択した場合、カスタマイズは有効化されず初期設定で抽出ができます。

プロフィールをカスタマイズする

メイン画面に表示されるプロフィールのアイコンを変更できます。

1 メイン画面に設定したいプロフィールを表示する

26 ページ 手順 2～4 参照

2 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する

3 液晶ディスプレイに「プロフィールをカスタマイズする」と表示されるまで NEXT > のセクターを押す

4 「プロフィールをカスタマイズする」のセクターを押す

使用中のアイコンは四角囲みで表示されます。

5 液晶ディスプレイに「アイコンを選択する」と表示される

表示させたいアイコンのセクターを押してください。

NEXT > のセクターを押すとページが送られ、使用可能なアイコンが表示されます。

アイコンを確定してメイン画面に戻るときには ESC のセクターを2回押してください。

プロフィールの名前（半角英数字）は Coffee Link アプリで変更することができます。

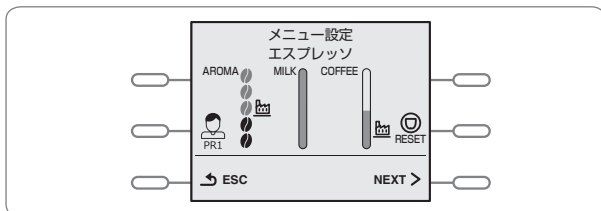
プロフィールごとのドリンク設定確認とリセット

プロフィールごとに設定した豆量と抽出量を確認または出荷時の状態にリセットすることができます。

1 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する



2 「メニュー設定」のセクターを押す



設定されている豆量、コーヒー・牛乳・お湯の抽出量が表示されます。

 の位置は、出荷時の設定量です。

NEXT > のセクターを押すとページが送られます。

確認後、メイン画面に戻るときは ESC のセクターを押してください。

出荷時の状態に戻すときには、手順 3～4 を行ってください。

3 「RESET」のセクターを押す

ディスプレイに「リセットしますか？」と表示されます。リセットする場合は OK ✓ のセクターを押してください。

ESC のセクターを押すと、リセットはキャンセルされます。

4 OK ✓ のセクターを押し、設定を確定する

ディスプレイに「初期設定に設定されました」と表示されます。再度 OK ✓ のセクターを押すと、確認画面に戻ります。ほかのメニューの設定を確認またはリセットするときは、手順 2～4 をくり返してください。

メイン画面に戻るときは ESC のセクターを押してください。

プロフィール内のすべてのメニューをリセットするときは、「プログラムのリセット」をご覧ください。(31 ページ)

便利な機能、その他の機能

自動で電源が切れるまでの時間を設定する（オートオフ）



何も操作しない時間が続いたときに、自動的に本体の電源が切れるまでの時間を設定します。

お買い上げ時には、2 時間後に電源が切れるように設定されています。

オートオフ機能は解除できません。

オートオフ機能で電源が切れるときも自動内部洗浄が行われ、抽出口から熱湯が出ますのでご注意ください。

- 1 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する



- 2 液晶ディスプレイに「オートオフ」が表示されるまで NEXT > のセクターを押す

- 3 「オートオフ」のセクターを押す

- 4 ▼ または ▲ のセクターを押し、自動で電源を切るまでの時間を選択する

「15 分」「30 分」「1 時間」「2 時間」「3 時間」から選択できます。

- 5 OK ✓ のセクターを押し設定を完了する
設定が完了したら ⏮ ESC のセクターを押してメイン画面に戻ります。

消費電力を抑える（節電モード）



節電モードの ON / OFF (入 / 切) を設定します。お買い上げ時には、ON (入) に設定されています。

節電モード中は、待機時の消費電力を抑えるため予熱をしません。

- 1 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する

- 2 液晶ディスプレイに「節電モード」が表示されるまで NEXT > のセクターを押す

- 3 「節電モード」のセクターを押し、入 / 切 (ON / OFF) の切り替えをする

設定が完了したら ⏮ ESC のセクターを押してメイン画面に戻ります。

ON から OFF に切り替えた際、予熱を開始する場合があります。

節電モード中にコーヒーを抽出したり、給湯をしたりすると、予熱のため抽出開始まで少し時間がかかる場合があります。その際はそのままお待ちください。

抽出温度を設定する

お買い上げ時には、レベル 2 に設定されています。

- 1 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する

- 2 液晶ディスプレイに「抽出温度設定」が表示されるまで NEXT > のセクターを押す

- 3 「抽出温度設定」のセクターを押す

抽出温度はレベル 1 (低温) ~ レベル 4 (高温) の 4 段階から選択できます。

現在の設定温度には下線が表示されます。

- 4 お好みの温度のセクターを押す

設定が完了したら ⏮ ESC のセクターを 2 回押してメイン画面に戻ります。



水硬度を設定する

お買い上げ時には、レベル 1 に設定されています。

- 1 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する
- 2 液晶ディスプレイに「水硬度」が表示されるまで NEXT > のセクターを押し
- 3 「水硬度」のセクターを押し
水硬度の設定画面が表示されます。
レベル 1～レベル 4 の 4 段階から選択できます。
- 4 水硬度チェッカーで確認したレベル (13 ページ) に合ったセクターを押し
設定が完了したら ESC のセクターを 2 回押し
てメイン画面に戻ります。

言語を設定する

ディスプレイに表示される言語を、日本語または英語に設定します。

お買い上げ時には、日本語に設定されています。

- 1 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する
- 2 液晶ディスプレイに「言語設定」が表示されるまで NEXT > のセクターを押し
- 3 「言語設定」のセクターを押し
現在の設定言語には下線が表示されます。
- 4 設定したい言語のセクターを押し
設定が完了したら ESC のセクターを 2 回押し
てメイン画面に戻ります。



操作音 (ビープ) の設定

お買い上げ時には ON (入) に設定されています。

- 1 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する
- 2 液晶ディスプレイに「操作音 (ビープ)」が表示されるまで NEXT > のセクターを押し
- 3 「操作音 (ビープ)」のセクターを押し、ON / OFF (入 / 切) の切り替えをする
設定が完了したら ESC のセクターを押してメ
イン画面に戻ります。



カップイルミネーション

コーヒー抽出時および内部洗浄中にライトが点灯し、カップを照らします。

お買い上げ時には、ON (入) に設定されています。

- 1 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する
- 2 液晶ディスプレイに「カップイルミネーション」が表示されるまで NEXT > のセクターを押し
- 3 「カップイルミネーション」のセクターを押し、ON / OFF (入 / 切) の切り替えをする
設定が完了したら ESC のセクターを押してメ
イン画面に戻ります。

便利な機能、その他の機能（つづき）

手動内部洗浄を行う（内部洗浄）

内部洗浄を行うと本体内部が温まるので、より熱いコーヒーをいれるのに効果的です。

1 容器を抽出口の下に置く

2 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する

3 「内部洗浄」のセクターを押し

給湯ノズルを取り付けているときは、給湯ノズルからもお湯が出ます。

「内部洗浄中 しばらくお待ちください」が表示され、内部洗浄が始まり、抽出口からお湯が出ます。

お湯が止まりメイン画面に戻ると、内部洗浄は完了です。

容器のお湯は捨ててください。

Bluetooth の PIN コードの変更

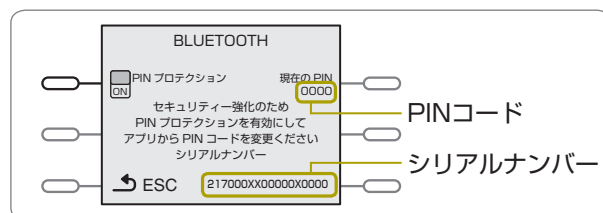


セキュリティ強化のため、PIN プロテクションを ON（有効）にし、Coffee Link（アプリ）から PIN コードの変更を行ってください。

1 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する

2 液晶ディスプレイに「BLUETOOTH」が表示されるまで NEXT > のセクターを押し

マシンのシリアル番号（19 桁）と 4 桁の番号（PIN コード）が液晶ディスプレイに表示されます。



3 「PIN プロテクション」のセクターを押し、ON / OFF（有効 / 無効）の切り替えをする

4 Coffee Link（アプリ）を起動して PIN コードの変更をする

変更された PIN コードが液晶ディスプレイに表示されます。「PIN プロテクション」が ON（入）に設定されます。設定が完了したら **ESC** のセクターを 2 回押しメイン画面に戻ります。

プログラムのリセット（初期設定）

設定を初期設定の状態に戻します。

- 1 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する
- 2 液晶ディスプレイに「初期設定」が表示されるまで NEXT ➤ のセクターを押す
- 3 「初期設定」のセクターを押す
- 4 液晶ディスプレイに「初期設定に戻しますか？」と表示される
初期設定に戻すときは OK ✓ のセクターを押してください。
キャンセルするときは ⬅ ESC のセクターを押してください。
- 5 液晶ディスプレイに「初期設定に設定されました」と表示される
OK ✓ のセクターを押し、設定を完了し、
⬅ ESC のセクターを押してメイン画面に戻ります。

使用履歴の表示

ドリンクを抽出した杯数、使用水量の累計（リットル）、除石灰回数、簡易洗浄回数、フィルター交換回数を表示します。

- 1 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する
- 2 液晶ディスプレイに「使用履歴」が表示されるまで NEXT ➤ のセクターを押す
- 3 「使用履歴」のセクターを押す
- 4 液晶ディスプレイに今までの使用履歴が表示される
使用履歴の次のページを表示するには NEXT ➤ のセクターを押してください。
使用履歴を確認してメイン画面に戻るときには
⬅ ESC のセクターを2回押してください。

便利な機能、その他の機能（つづき）

ウォーターフィルターの設定



液晶ディスプレイに「フィルターを交換してください」と表示されたらウォーターフィルターを交換してください。

ウォーターフィルターの交換

- 1 コーヒーマシン本体から水タンクを取り外し、ウォーターフィルターを外す
- 2 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する



- 3 「ウォーターフィルター」のセクターを押し
- 4 液晶ディスプレイの「フィルターの交換」のセクターを押し



- 5 ウォーターフィルターの取り付けかた（14ページ）の 3～9 の手順でウォーターフィルターを取り付ける

給湯ノズルから水が出ます。

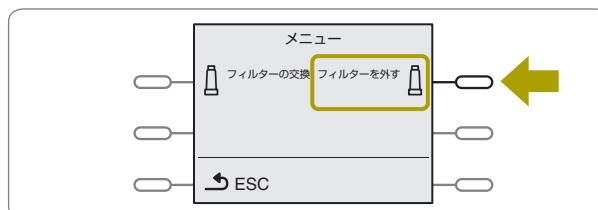
水が止まると、ウォーターフィルターの交換が完了し、マシンが使用できるようになります。

ウォーターフィルターを取り外して使用する場合

- 1 コーヒーマシン本体から水タンクを取り外し、ウォーターフィルターを外す
- 2 メイン画面の「設定」のセクターを押し、設定画面を表示する



- 3 「ウォーターフィルター」のセクターを押し
- 4 液晶ディスプレイの「フィルターを外す」のセクターを押し



ディスプレイに「フィルターを取り外しますか？」と表示されます。外す場合は **OK ✓** のセクターを押してください。 **ESC** のセクターを押すとキャンセルされます。

- 5 **OK ✓** のセクターを押す

「フィルターを取り外しました」と表示され、設定が完了します。

メイン画面に戻るときは再度 **OK ✓** のセクターを押してください。

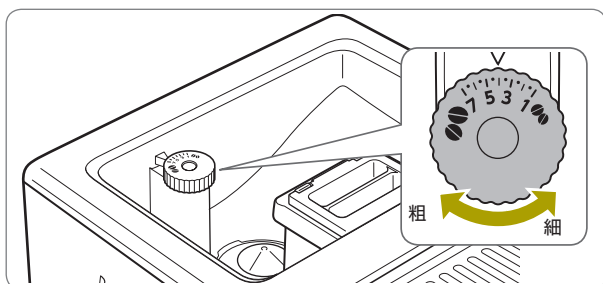
豆の挽き具合を調整する

通常はお買い上げ時の設定「5」のままお使いください。



グラインダーノブは、豆が挽かれているとき（グラインダーが作動中のとき）のみ回す
（故障の原因）

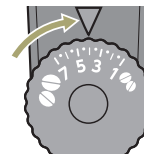
- 1 豆ホッパーふたを取り外す
- 2 コーヒーを抽出する
- 3 豆が挽かれている間（グラインダーが作動中）に、グラインダーノブを1目盛りだけ回す



豆の挽き具合は次の場合にのみ調整してください。

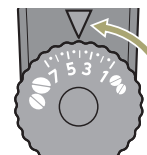
コーヒーが抽出されない、または抽出が極端に遅い

粗い方（時計回り）に1目盛り回す



コーヒーが薄い、またはもっとクリーミーにしたい

細かい方（反時計回り）に1目盛り回す



調整した後は、コーヒーを2杯以上抽出しないと効果が得られません。2杯以上抽出して効果が得られなかった場合は、もう一度調整してください。

お手入れ

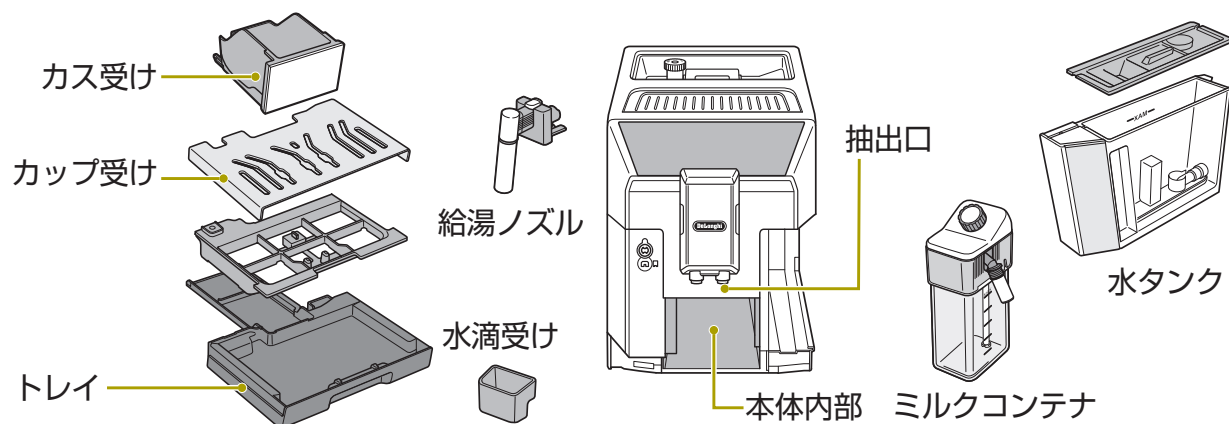
いつも清潔な状態で使用するため、こまめにお手入れすることをおすすめします。

お手入れに関するお願い

- ベンジン・シンナー・アルコール※・研磨剤・漂白剤は、使わないでください。（傷、変色の原因）
- たわし類・メラミンスポンジは、使わないでください。（傷の原因）
- 食器洗い機・食器乾燥機は使わないでください。（変形の原因）

※ スチーム管周囲の清掃（35 ページ）のキッチン用アルコール除菌スプレーを除く。

毎日のお手入れ



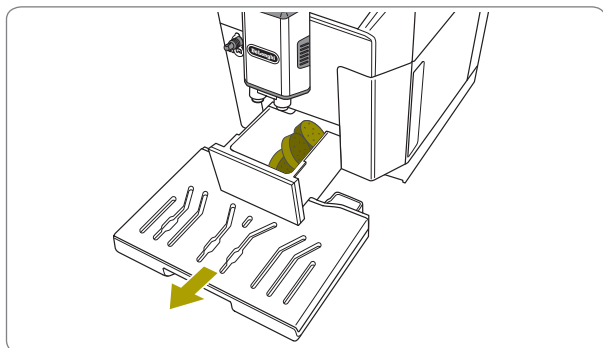
豆ホッパーに残った豆は

豆ホッパーふたには、ある程度の遮光性と密閉性があるため、残った豆はそのまま豆ホッパー内に入れておいてかまいませんが、3日以内にお使いいただくことをおすすめします。

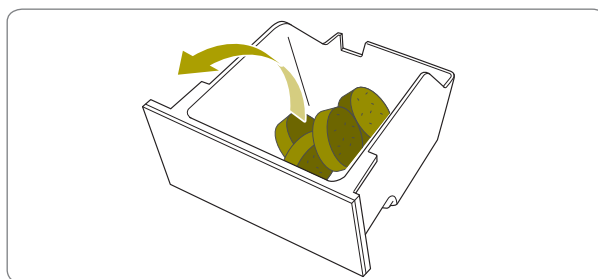
カス受けにたまったカスを捨てる

本製品では、抽出杯数を自動でカウントし、この作業でリセットする仕組みになっています。必ず電源が入っている状態で捨ててください。

1 電源を入れた状態でトレイを取り外す



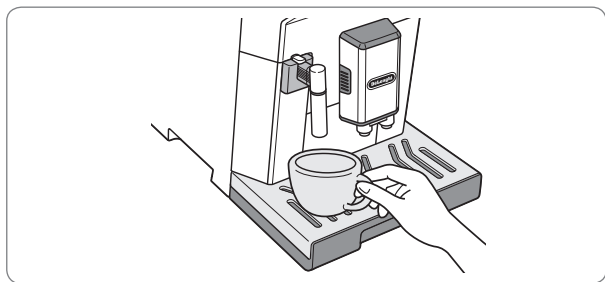
2 カス受けのカスを捨てる



3 カス受けをトレイに取り付け、トレイを本体に戻す

給湯ノズル、スチーム管の汚れを取る

1 給湯ノズルの下にカップを置く



2 ドリンクメニューから「給湯」を選択する

液晶ディスプレイに給湯の表示が出ます。

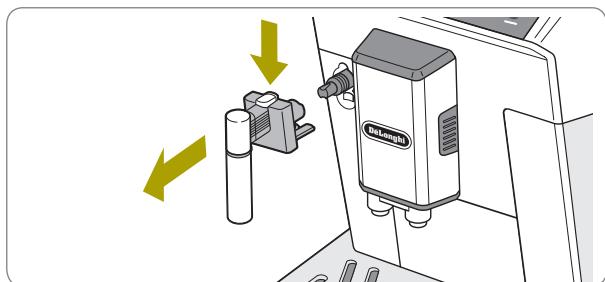
3 「給湯」のセレクトターを押す

給湯ノズルからお湯が出ます。

4 少量のお湯を出し、STOPXのセレクトターを押してお湯を止める

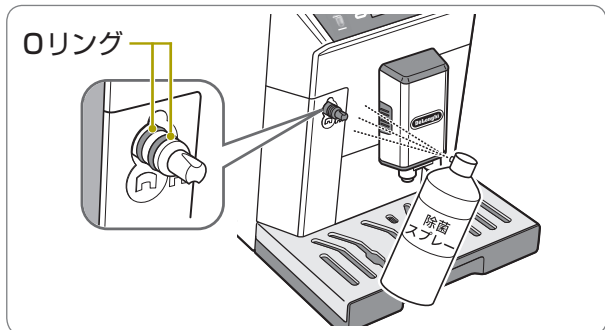
5 フロッサーが冷えるまで、2～3分待つ

6 取り外しボタンを押しながら給湯ノズルを手前に引いて取り外す



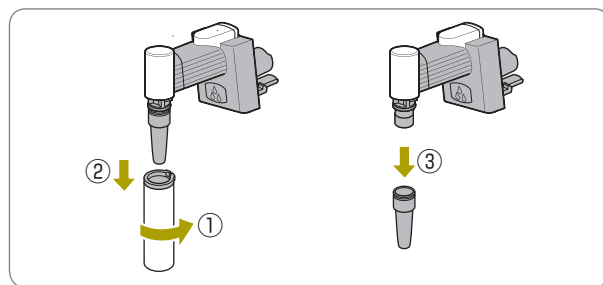
給湯ノズル内に少量のお湯が残るので
やけどに注意する

7 スチーム管の周囲を清掃する



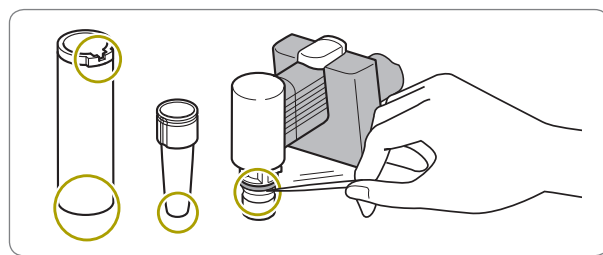
キッチン用アルコール除菌スプレーでスチーム管の周囲を除菌し、先の細い柔らかいブラシで清掃し、固く絞った濡れ布巾でスチーム管とOリングを丁寧に拭いてください。

8 フロッサーを反時計回りに回して外し、スチームノズルを下に引いて外す



9 各部品を水洗いする

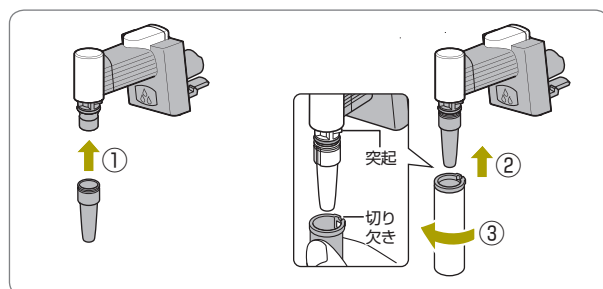
10 フロッサー、スチームノズル、給湯ノズルの穴や溝が汚れている場合は、爪楊枝など先の細いもので取り除く



11 乾いたら逆の要領でスチームノズルとフロッサーを給湯ノズルに取り付ける

フロッサーの切欠き部分にスチームノズル背面の突起がはまるように取り付け、最後まで差し込んだら、時計回りに回して固定します。

スチーム管のOリングを破損・紛失しないようにしてください。



12 給湯ノズルをスチーム管に取り付ける

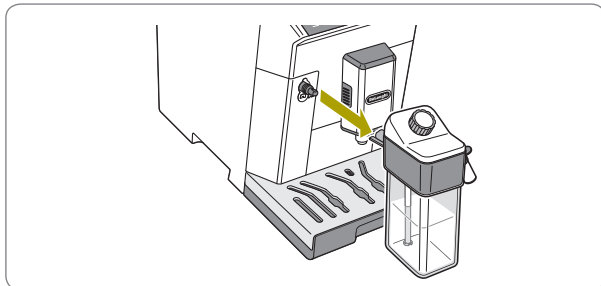
便利な機能、その他の機能（つづき）

お手入れ

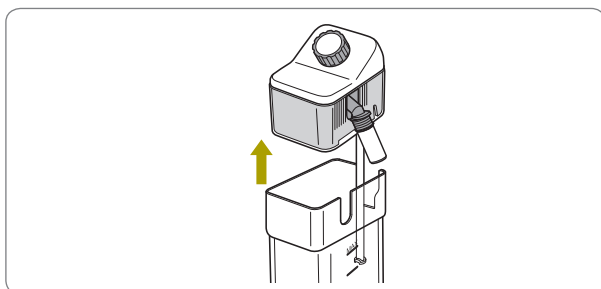
お手入れ (つづき)

ミルクコンテナの汚れを取る

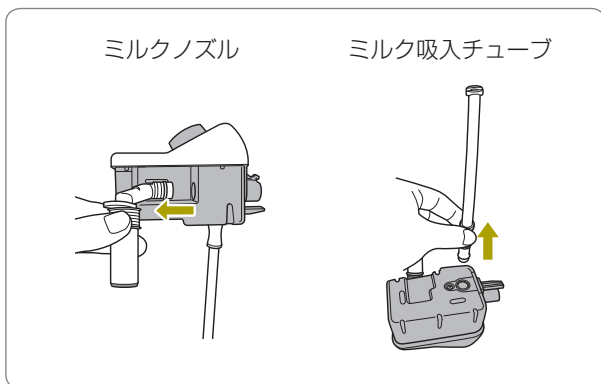
1 ミルクコンテナを取り外す



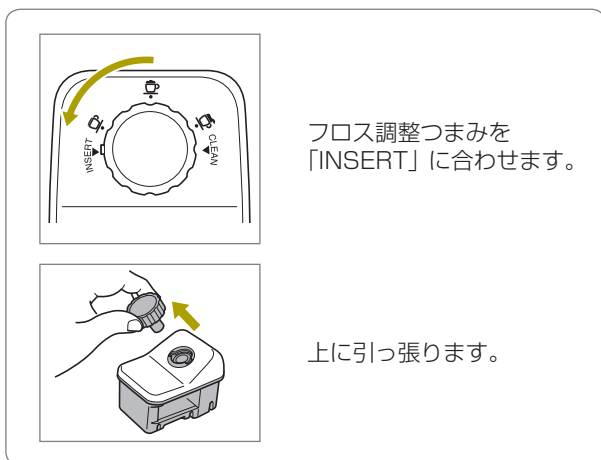
2 ミルクコンテナのふたを取り外す



3 ミルクコンテナのふたからミルクノズルとミルク吸入チューブを取り外す



4 ミルクコンテナのふたからフロス調整つまみを取り外す



5 ぬるま湯と食器用洗剤でよく洗う

食器用洗剤を溶かしたぬるま湯に部品を浸けて洗淨します。ミルクコンテナ本体は、食器用洗剤を使って、水洗いします。

矢印 (→) で示されている穴や溝、くぼみが詰まらないように、特によく洗ってください。その後、よくすすぎ、各部品に洗剤が残らないようにしてください。



6 乾いたら、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみをふたに戻す

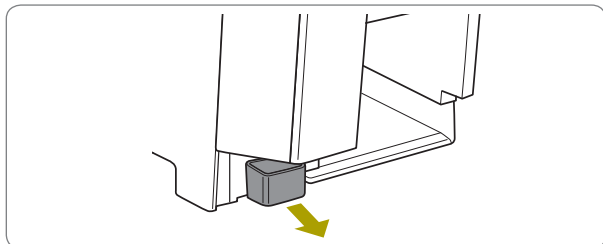
取り外したときと逆の要領で、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみをふたに取り付けます。

7 ふたをミルクコンテナに戻す

トレイ、カップ受け、カス受け、水滴受けを洗う

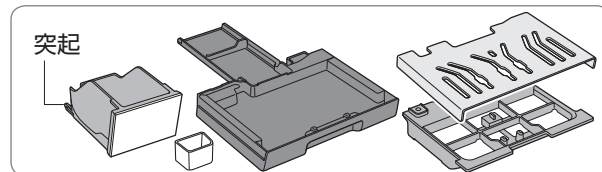
この作業は、電源を切った状態で行ってください。

- 1 電源を切る
- 2 トレイを取り外す
- 3 水滴受けを取り外す



- 4 それぞれを水洗いする

- 5 乾いたら本体に戻す



カス受けの取り扱いにご注意ください。
背面の突起が破損すると、カス受けが認識されない原因になります。

水タンクを洗う

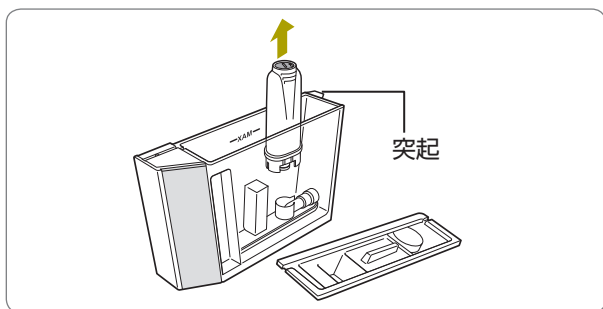
この作業は、電源を切った状態で行ってください。



水タンクの取り扱いにご注意ください。

- 背面の突起が破損すると、水タンクが認識されない原因になります。
- 背面の給水口が破損すると、水漏れの原因になります。
- 水タンク内の部品が外れないようご注意ください。動作不良の原因になります。

- 1 電源を切る
- 2 水タンクを取り外し、ウォーターフィルターは取り外して流水ですすぐ



- 3 水タンクは食器用洗剤で洗い、よくすすいで乾かす

フィルターは洗剤で洗わないでください。

- 4 ウォーターフィルターを水タンクに戻し、水を入れて本体に戻す

フィルターから水が抜けたときは、水に浸してしっかり空気を抜いてから水タンクに戻してください。

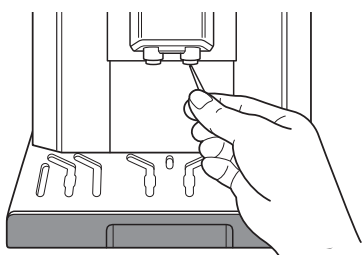
- 5 電源を入れて、100mL 程度給湯する

お手入れ（つづき）

抽出口を掃除する

電源を切った状態で行ってください。

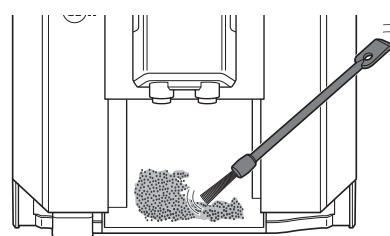
固く絞った濡れ布巾で拭きます。抽出口が詰まっている場合は爪楊枝などを使って取り除きます。



本体内部を掃除する

電源を切った状態で行ってください。

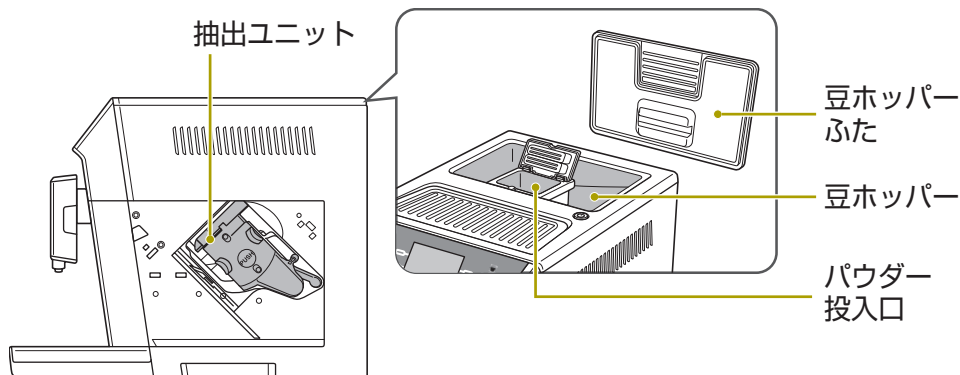
本体内部のコーヒー粉は、付属のクリーニングブラシや固く絞った濡れ布巾を使って取り除いてください。



お手入れ(つづき)

1 カ月に 1 回のお手入れ

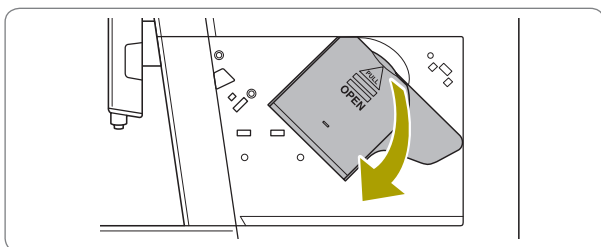
1 週間以上使用しなかった場合も、同じお手入れをしてください。



抽出ユニットを洗う

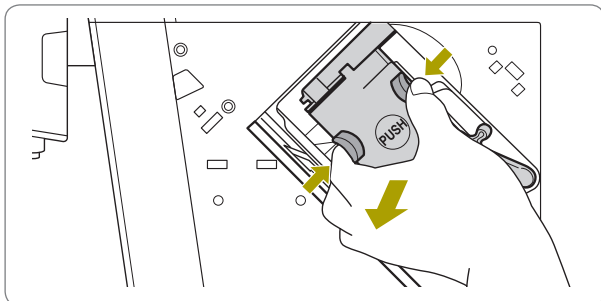
必ず電源を切って行ってください。

- 1 電源を切る
- 2 水タンクを取り外す
- 3 抽出ユニットふたを、「PULL」と書かれた部分を手前に引いて開く



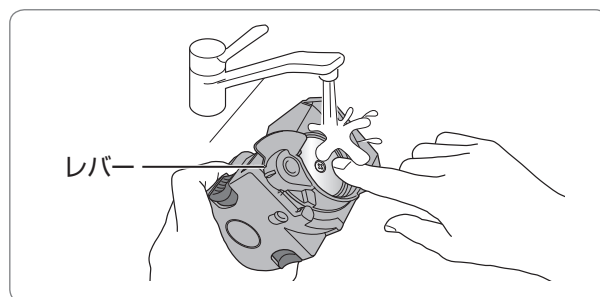
4 抽出ユニットを取り出す

赤いボタン（2箇所）を内側に押し込みながら手前に引いて取り出します。



抽出ユニットが縦向きになっていて取り外せない場合は、電源を一度入れ、再度電源を切ってください。

5 抽出ユニット上部を流水で洗う



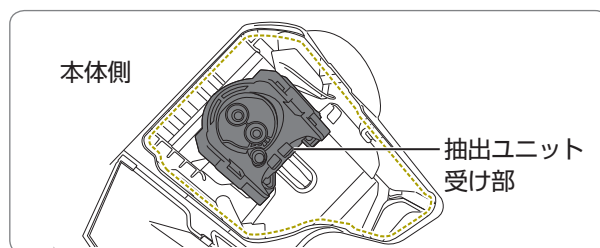
銀色のフィルター部分やレバーの周りなどに残ったコーヒー粉を洗い流します。
洗った後は、完全に乾かしてください。

フィルターや伸縮部に塗布されたグリースは、食品機械用潤滑剤です。完全には洗い流さないでください。

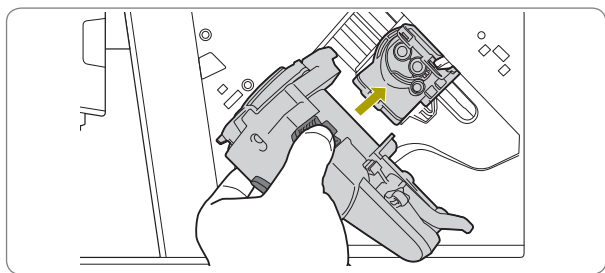


洗剤を使ったり、食器洗い機で洗ったり、水に浸けたりしない（故障の原因）

6 付属のクリーニングブラシで、抽出ユニット受け部周辺のカスを取り除く

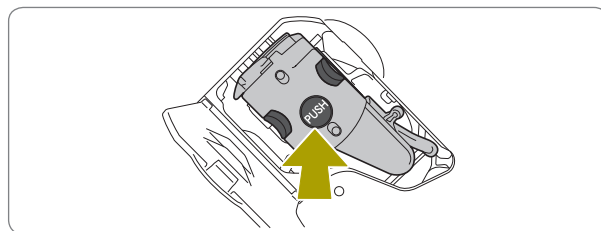


7 抽出ユニットの円筒部分を、抽出ユニット受け部にはめる



8 「PUSH」と表示されている部分を押し、カチッと音がするまではめ込む

はめ込みにくい場合は、赤いボタン（2箇所）を軽く押しながら押し込んでください。



はめ込んだ後に、赤いボタンが押し込まれたままになっている場合は、抽出ユニットが正しく取り付けられていません。一旦取り出してから、取り付け直してください。

9 抽出ユニットふたを閉め、水タンクを取り付ける

抽出ユニットの伸縮動作が固くなってきたら

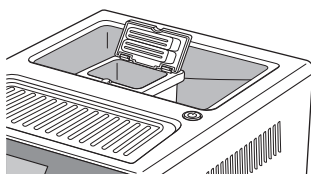
銀色のフィルター部分を指で押し込んだときの伸縮動作が固くなってきたら、抽出ユニット用グリースを塗布してください。そのまま使用を続けると故障の原因となります。

- 抽出ユニット用グリースは、お求めの販売店または当社オンラインショップでお求めください。（49 ページ）

豆ホッパー、パウダー投入口を掃除する

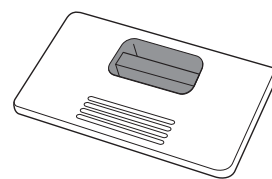
必ず電源を切って行ってください。

パウダー投入口に残ったコーヒー粉を、付属のクリーニングブラシで取り除いてください。豆ホッパーは、乾いた布巾で拭いてください。



豆ホッパーふたを掃除する

水洗いした後、よく乾かしてから本体に戻します。



お手入れ（つづき）

必要に応じてのお手入れ

内部のコーヒー抽出経路

手動内部洗浄を行って、コーヒー抽出経路を洗浄します。（30 ページ）

抽出用にミネラルウォーターや浄水器の水をご使用の場合、週に1度、水道水を水タンクに入れて内部洗浄を数回行うことをおすすめします。水道水の残留塩素で、洗浄効果が高まります。

2日以上使用しなかったときは、手動内部洗浄を2～3回行うことをおすすめします。

本体表面、電源プラグ・コード

水洗いできません。

汚れたときは、固く絞った濡れ布巾で拭きます。汚れがひどい場合は、少量の食器用洗剤をつけた布で拭いてから、濡れ布巾で洗剤をよく拭き取ってください。

石灰（白い付着物）を除去する



ご使用にともない、水の石灰質が徐々に内部管などに付着します。石灰が付着した状態で使用を続けると、故障の原因になります。
石灰の除去が必要な時期になると、「石灰の除去をしてください OK を押して開始（～45分）」の表示が出てお知らせします。以下の手順で、石灰の除去を行ってください。

石灰の除去作業（所要時間 45 分程度）は中断できません。時間の余裕をもって行ってください。

1. 準備する

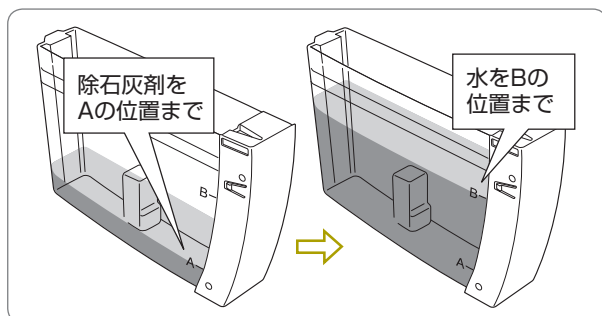
1 給湯ノズルを取り付け、OK ✓ のセレクトターを押して、石灰の除去に入る

液晶ディスプレイに手順が表示されますので、ディスプレイの指示に従って進んでください。

2 「フィルターを外してください」

コーヒーマシン本体から水タンクを取り外し、ウォーターフィルターを取り外し、水タンクを空にします。準備ができれば **NEXT >** のセレクトターを押してください。

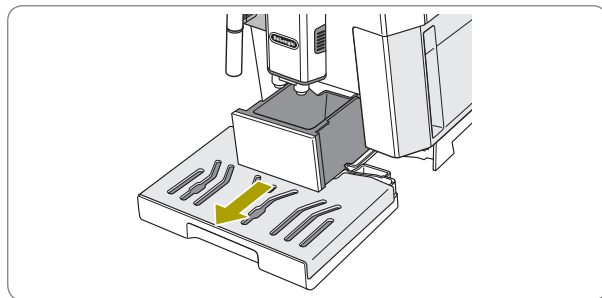
3 「除石灰剤（Aまで）と水（Bまで）を入れる」



準備ができれば **NEXT >** のセレクトターを押してください。

4 「トレイの水を捨ててください」

トレイとカス受けを外し、たまった水とカスを捨ててください。

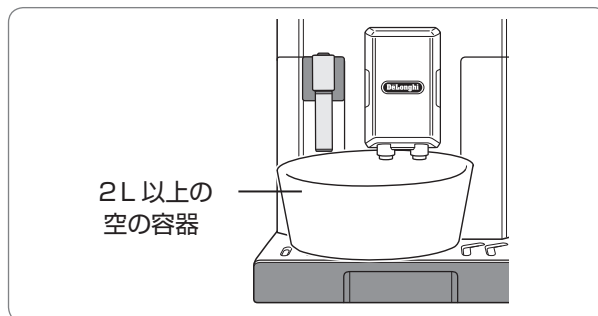


5 「カス受けをセットする」

空になったトレイとカス受けを取り付けて、OK ✓ のセレクトターを押してください。

2. 洗浄する

1 「2L 以上の容器を置いて OK を押してスタートする」



OK ✓ のセレクトターを押してください。「除石灰を実行中 しばらくお待ちください」と表示され、石灰の除去が始まります。

洗浄中は、自動で抽出口とフロッサーからお湯が出たり止まったりします。

約 25 分経つと水タンクが空になり、除石灰は停止します。容器を空にしてください。

3. すすぐ

1 「水タンクをすすいでから 水を MAX まで入れる」

水タンクを取り外して水でよくすすぎ、「MAX」の位置まで新しい水を入れ、本体に取り付けます。

2 「2L 以上の容器を置いて OK を押してすすぎ洗いをスタートする」

容器を置き、OK ✓ のセレクトターを押してください。「内部洗浄中 しばらくお待ちください」と表示され、すすぎが始まります。

除石灰剤は入れないでください。

3 「水タンクをすすいでから 水を MAX まで入れる」

水タンクが空になり、除石灰は停止します。容器を空にしてください。

ウォーターフィルターを使用していたときは、水タンクにフィルターを取り付け、「MAX」の位置まで新しい水を入れ、本体に取り付けます。

4 「2L 以上の容器を置いて OKを押してすすぎ洗いをスタートする」

容器を置いて、OK ✓ のセクターを押してください。「内部洗浄中 しばらくお待ちください」と表示され、すすぎが始まります。

除石灰剤は入れないでください。

5 「トレイの水を捨ててください」

トレイとカス受けを外し、たまった水を捨ててください。

NEXT ➤ のセクターを押し、「除石灰が完了しました」と表示されたらOK ✓ のセクターを押してください。

すすぎが終わり、除石灰の完了です。

6 水タンクに水を入れ、本体に取り付ける

「予熱中 しばらくお待ちください」と表示され、予熱が終わるとメイン画面に戻り、抽出できる状態になります。

「石灰の除去をしてください OK を押して開始（～45 分）」の表示が出て、すぐに除石灰が出来ないときは、故障の原因になりますので、なるべく早く除石灰を行ってください。メイン画面の「設定」のセクターを押し、「除石灰」を選択して除石灰を行うこともできます。

- 除石灰剤が必要な場合は、お求めの販売店または当社オンラインショップでお求めください。（49 ページ）



ヒント 石灰除去の頻度について

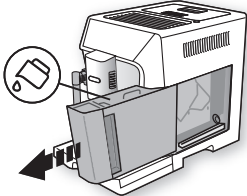
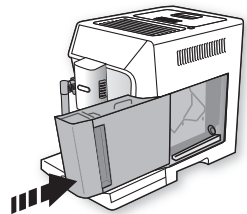
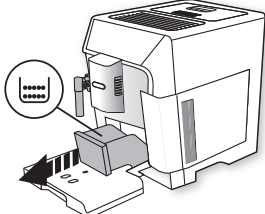
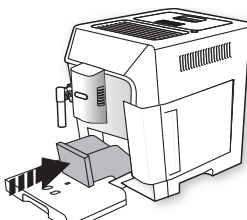
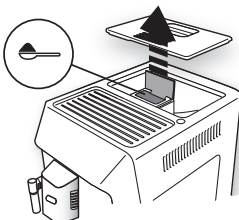
液晶ディスプレイの表示で石灰除去の時期をお知らせする頻度は、設定した水硬度レベル（29 ページ）によって変わります。レベルを低く設定すると少なくなり、高く設定すると多くなります。

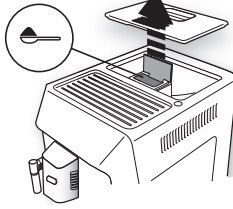
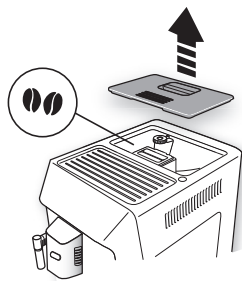
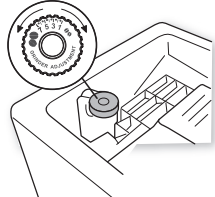
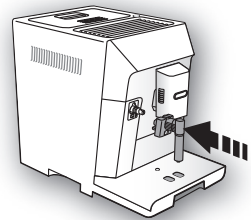
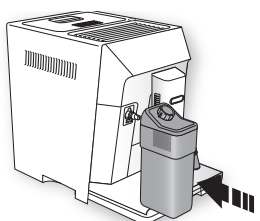
水硬度レベル	1	2	3	4	
石灰除去の頻度	少ない (軟水)				多い (硬水)

石灰（白い付着物）を除去する

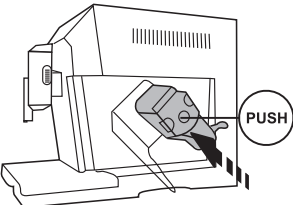
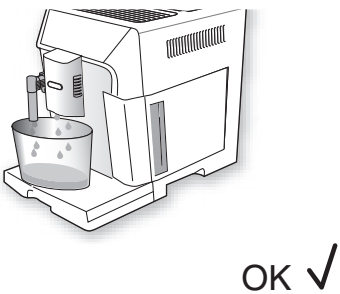
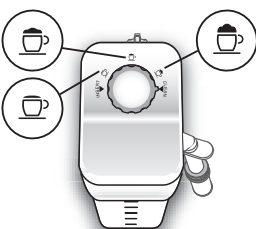
表示一覧

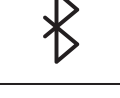
アイコンの点灯や点滅の意味と対処方法を説明します。

表示	説明	対処のしかた
水タンクに水を入れる 	水タンクの水が不足しています。	水タンクに水を入れ、しっかり本体に取り付けてください。
水タンクをセットする 	水タンクが正しく取り付けられていません。	水タンクをしっかりと本体に押し込んでください。 水タンク背面上部の突起が破損していないか確認してください。(10 ページ)
カス受けを空にする 	カス受けがいっぱいになっています。	コーヒーカスを捨ててください。 ※カス受けが満杯になっていなくても「カス受けを空にする」と表示されたら、必ずカスを捨ててください。(34 ページ)
カス受けをセットする 	カス受けが正しく取り付けられていません。	カス受けを正しい位置に取り付けてください。 カス受け背面下部の突起が破損していないか確認してください。(9 ページ)
コーヒー粉を パウダー投入口に入れる  ESC	パウダー投入口にコーヒー粉が入っていない状態で、コーヒー粉からの抽出が選択されています。	パウダー投入口にコーヒー粉を入れてください。(18 ページ) コーヒー豆を使うときは、豆量を ☞ にしないでください。(19 ページ)

表示	説明	対処のしかた
コーヒー粉を パウダー投入口に入れる  ESC OK ✓	コーヒー粉からカフェ・ジャポネの抽出中、コーヒー粉を補充する必要があります。	パウダー投入口にコーヒー粉を入れて、OK ✓のセクターを押してください。(20 ページ)
豆ホッパーに豆を入れる  ESC	豆ホッパーのコーヒー豆がなくなりました。	豆ホッパーにコーヒー豆を入れてください。(18 ページ)
	パウダー投入口（内部）が詰まっています。	付属のクリーニングブラシでパウダー投入口をお手入れしてください。(39 ページ)
豆粒度エラー グラインダーを調整してください  ESC	豆の挽き具合（粒度）が細かすぎて、抽出が遅い（またはされない）状態です。	グラインダーノブを粗いほう（時計回り）に1目盛回してください。(33 ページ)
	本体の水経路に空気が入り、抽出されない状態です。（ウォーターフィルター使用時）	給湯ノズルを取り付け、お湯が出るまで給湯してください。(25 ページ)
豆量またはコーヒー粉の 量を減らしてください  ESC	コーヒー豆または粉の量が多すぎます。	「豆量」のセクターでコーヒー豆の量を少なく調整するか、コーヒー粉の量を減らしてください。(18 ページ)
給湯ノズルをセットする 	給湯ノズルが取り付けられていない。または正しく取り付けられていません。	給湯ノズルを奥まで挿入し、正しく取り付けてください。(12 ページ)
ミルクコンテナをセットする 	ミルクコンテナが正しく取り付けられていません。	ミルクコンテナを奥まで挿入し、正しく取り付けてください。(21 ページ)

表示一覧 (つづき)

表示	説明	対処のしかた
抽出ユニットをセットする 	抽出ユニットが取り付けられていません。	抽出ユニットを正しく取り付けてください。(39 ページ)
空気抜きが必要です OK を押して開始 	本体の水経路に空気が入っている状態です。	OK ✓ のセクターを押して給湯ノズルから水を出してください。 それでも問題が解決しない場合は、水タンクをしっかりと本体に押し込んでください。(12 ページ)
洗浄のため OK を押す またはつまみを回す 	フロス調整つまみを「CLEAN」の位置に合わせている状態です。	ミルクノズルの洗浄をするときにはOK ✓ のセクターを押してください。 ミルクメニューを抽出するときにはフロス調整つまみを「CLEAN」の位置から、☕～☕の間に戻してください。(22 ページ)
(CLEAN) の位置に合わせる 	ミルクノズルの洗浄が必要です。	フロス調整つまみを「CLEAN」に合わせてください。(22 ページ)
フロス調整つまみを回す 	フロス調整つまみを「CLEAN」の位置に合わせている状態です。	フロス調整つまみを「CLEAN」の位置から、☕～☕の間に戻してください。(21 ページ)

表示	説明	対処のしかた
石灰の除去をしてください OK を押して開始（～ 45 分）   ESC OK 	石灰の除去が必要です。	OK  のセレクトを押して石灰の除去を行ってください。 または  ESC のセレクトを押して、後で石灰の除去を行ってください。（40 ページ）
フィルターを交換してください OK を押して開始   ESC OK 	ウォーターフィルターの交換が必要です。	OK  のセレクトを押してウォーターフィルターを交換してください。 または  ESC のセレクトを押して、後でウォーターフィルターを交換してください。（14 ページ）
エラー： 説明書またはアプリを確認 	抽出ユニットの動作不良などが考えられます。	①電源を切り、約 5 秒後に再度入れる ②抽出ユニットを取り付け直す。 上記手順を行っても解決しない場合は、当社までご相談ください。（50 ページ）
	石灰の除去またはウォーターフィルターを交換する必要があります。	石灰の除去を行ってください。（40 ページ） または、ウォーターフィルターを交換または取り外してください。（32 ページ）
	ミルクコンテナのミルク吸入チューブを洗浄する必要があります。	フロス調整つまみを「CLEAN」に合わせてください。（22 ページ）
	ウォーターフィルターを交換する必要があります。	ウォーターフィルターを交換または取り外してください。（32 ページ）
	石灰を除去してください。	石灰の除去を行ってください。 ・本製品は、短い間隔で石灰の除去を要求する場合があります。これは本製品の制御システムの動きのためで、故障ではありません。（40 ページ）
	節電モードが「入」に設定されています。	節電モードは入／切を設定できます。（28 ページ）
	Bluetooth 経由でデバイスに接続されています。	—
簡易洗浄中 しばらくお待ちください	本体の内部経路に不純物を検出しました。	メイン画面が表示されるのを待ち、お好みのメニューを再度選択してください。問題が解決しない場合は、当社までご相談ください。（50 ページ）

故障かな？

症 状	考えられる原因		対処のしかた
コーヒーがぬるい	エスプレッソの温度は 67 ～ 70℃前後が理想とされています。一般的なドリップコーヒー（85℃前後）と比べてぬるく感じるがありますが、異常ではありません。		
	カップが温まっていない		給湯を行い、カップを湯煎してください。（25 ページ）
	本体内部が温まっていない		手動内部洗浄を行い、本体内部を温めてください。（30 ページ）
	抽出温度の設定が低い		抽出温度を「レベル 3」や「レベル 4」に設定してください。（28 ページ）
コーヒーがクリーミーでない （クレマがない／少ない） 抽出が早すぎる	からの抽出 豆	コーヒー豆の挽き具合が粗すぎる	グラインダーノブを細かいほう（反時計回り）に 1 目盛回してください。（33 ページ）
		適切な豆を使用していない	新鮮なエスプレッソ用の豆を使用してください。（7 ページ）
	からの抽出 粉	コーヒー粉の量が少なすぎる	コーヒー粉の量を増やしてください。（最大：計量スプーン山盛り 1 杯）
		適切なコーヒー粉を使用していない	新鮮なエスプレッソ用の粉（極細挽き～細挽き）を使用してください。（7 ページ）
抽出が遅い （ポタポタとしか抽出されない） 抽出されない	抽出口や抽出ユニットが目詰まりを起こしている		抽出口や抽出ユニットのお手入れをしてください。（37、38 ページ）
	からの抽出 豆	挽かれたコーヒー豆の量が多すぎる	豆量の調節をしてください。（19 ページ）
		コーヒー豆の挽き具合が細かすぎる	グラインダーノブを粗いほう（時計回り）に 1 目盛回してください。（33 ページ）
	からの抽出 粉	コーヒー粉の量が多すぎる	投入するコーヒー粉の量を減らしてください。
		電源が「切」のときにコーヒー粉を投入した	内部に粉が飛び散るため、本体内部および抽出ユニットのお手入れを行ってから再度抽出してください。（37、38 ページ）
カフェ・ジャポネ抽出中に音がる	カフェ・ジャポネは、エスプレッソとは違った方法で抽出します。故障ではありません。		
大きな音が生じ、抽出口からコーヒーなどが出ない	本体の水経路に空気が入っている		給湯を行ってください。（25 ページ）
左右の抽出口から出るコーヒーの量が違う	片方の抽出口が詰まっている		抽出口をお手入れしてください。（37 ページ）
	本体が水平に設置されていない		水平に設置してください。
フロスミルクが適量出てこない	牛乳の通り道が詰まっている		ミルクコンテナやスチーム管、ミルクノズル、ミルク吸入チューブ、フロス調整つまみを洗浄してください。（36 ページ）
スチームが出てくる	ミルクコンテナに必要な分量の牛乳が入っていない		ミルクコンテナに必要な分量の牛乳を入れてください。（21、48 ページ）
コーヒーを抽出中、トレイに水がたまる	コーヒーを抽出中に、トレイ側に水が漏れている		当社へご連絡ください。（50 ページ）

症 状	考えられる原因	対処のしかた
スチームが出ない	水タンクに水がない	水タンクに水を入れてください。
	スチームノズルが目詰まりしている	給湯ノズルをお手入れしてください。(35 ページ)
⌚ ボタンを押しても電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
お手入れの際、抽出ユニットが取り外せない	本体の電源が入った状態で取り外そうとした	抽出ユニットは、電源が切れているときのみ取り外すことができます。本体の電源を切ってから取り外してください。(38 ページ) ※ 無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。
石灰の除去で 3 回目のすすぎを要求された	2 回のすすぎのとき水タンクに MAX まで水を入れていなかった	トレイにたまった水を捨ててから液晶ディスプレイの表示に従ってください。(40 ページ) ※ 石灰の除去の際は、お湯の排出・停止を自動的に繰り返します。
グラインダーにコーヒー豆が引き込まれない	油分の多いコーヒー豆を使用している	油分によって豆が豆ホッパーに付着してしまい、グラインダーに引き込まれないときは、豆ホッパーを乾いた布巾で拭いてください。
牛乳の泡立ちが悪い Ⅱ フォームミルクがうまくできない	鮮度、温度、種類ともに不適当な牛乳を使用している	新鮮で冷えた成分無調整／乳脂肪分 3.0%以上の牛乳を使ってください。(7 ページ)
	泡立て用の器（ミルクジャグ）の形が適切ではない	口径が小さく深めのもの（金属製）を使ってください。(7 ページ)
	給湯ノズルの穴が目詰まりしている	給湯ノズルのお手入れをしてください。(35 ページ)
	スチーム管の O リングが破損または欠損している	新しい O リングに取り替えが必要です。当社へご連絡ください。(50 ページ)

故障かな？

抽出量

メニュー			初期設定 MY サイズ (設定可能範囲)	S サイズ	M サイズ	L サイズ	XL サイズ
コーヒー メニュー	エスプレッソ		30mL (20 ~ 180mL)	24mL	30mL	36mL	120mL
	エスプレッソ x 2		60mL (40 ~ 360mL)	48mL	60mL	72mL	240mL
	カフェ・ジャポネ		180mL (115 ~ 250mL)	145mL	180mL	215mL	270mL
	スペシャルティ		180mL (100 ~ 240mL)	145mL	180mL	215mL	240mL
	ドoppio+		120mL (80 ~ 180mL)	95mL	120mL	145mL	180mL
	アメリカーノ	コーヒー	40mL (20 ~ 180mL)	32mL	40mL	48mL	60mL
		給湯	110mL (50 ~ 300mL)	88mL	110mL	132mL	165mL
ミルク メニュー	カプチーノ	コーヒー	30mL (20 ~ 180mL)	24mL	30mL	36mL	45mL
		牛乳	120mL (20 ~ 340mL)	96mL	120mL	144mL	180mL
	カプチーノ+	コーヒー	120mL (20 ~ 180mL)	96mL	120mL	144mL	180mL
		牛乳	70mL (20 ~ 340mL)	56mL	70mL	84mL	105mL
	カプチーノ MIX	コーヒー	80mL (20 ~ 180mL)	64mL	80mL	96mL	120mL
		牛乳	70mL (20 ~ 340mL)	56mL	70mL	84mL	105mL
	ラテマキアート	コーヒー	30mL (20 ~ 180mL)	24mL	30mL	36mL	45mL
		牛乳	150mL (20 ~ 340mL)	120mL	150mL	180mL	225mL
	エスプレッソ マキアート	コーヒー	30mL (20 ~ 180mL)	24mL	30mL	36mL	45mL
		牛乳	30mL (20 ~ 340mL)	24mL	30mL	36mL	45mL
	カフェラテ	コーヒー	30mL (20 ~ 180mL)	24mL	30mL	36mL	45mL
		牛乳	150mL (20 ~ 340mL)	120mL	150mL	180mL	225mL
	フラットホワイト	コーヒー	60mL (20 ~ 180mL)	48mL	60mL	72mL	90mL
		牛乳	120mL (20 ~ 340mL)	96mL	120mL	144mL	180mL
	ミルク	牛乳	100mL (20 ~ 340mL)	80mL	100mL	120mL	150mL
その他	お茶メニュー		150mL (30 ~ 420mL)	120mL	150mL	180mL	225mL
	給湯		100mL (20 ~ 340mL)	—			

数値は目安です。お使いになるコーヒー豆や牛乳の状態、マシンの設定や使用環境により変わる場合があります。

仕様

製品名称		デロンギ プリマドンナ クラス 全自動コーヒーマシン
型式番号		ECAM55085
定格	電圧／周波数	100V ／ 50-60Hz
	消費電力	1450W
外形寸法（約）		幅 260 ×奥行き 460 ×高さ 360（mm）
質量（約）		12.5kg
水タンク容量		2.0L（MAX の目盛り）
ミルクコンテナ容量		500mL
豆ホッパー容量		370g
豆量設定（約）		エスプレッソ 1 杯抽出：6～11g、2 杯抽出：10～14g、スペシャルティ：8～14g、 カフェ・ジャポネ：10～18g、アメリカーノ：6～11g、ドッピオ+：15g
コーヒー粉使用		使用可（最大量：計量スプーン山盛り 1 杯）
カス受け容量		最大 20 杯分
ポンプ圧		15 気圧
グラインダー		コーン式コーヒーグラインダー
付属品		計量スプーン、コーヒーマシン用除石灰剤、水硬度チェッカー、クリーニングブラシ、 ウォーターフィルター
Bluetooth	通信方式	Bluetooth 標準規格 Ver.5.1 Class2
	使用周波数 帯域	2.4GHz 帯
	最大通信 距離	見通し約 10m 通信距離は目安です。機器周囲の環境により通信距離が変わる場合があります。

※待機電力は約 0.5W 以下です。

別 売 品

- 抽出ユニット
- 抽出ユニット用グリース
- 水硬度チェッカー
- ミルクコンテナ
- コーヒーマシン用ウォーターフィルター [型番：DLSC002]
- コーヒーマシン用除石灰剤（2個入り）[型番：DLSC200]
- コーヒーマシン用除石灰剤（500mL ボトル）[型番：DLSC500]
- エコマルチクリーン [型番：DLSC550]
※ ミルクタンクやフロッサーに付着した乳成分の除去に最適な洗剤
- ミルクジャグ（350mL）[型番：DLSC060]

お求め方法 ▶お買い上げの販売店または当社オンラインショップでお求めください。
オンラインショップ URL ▶ <http://shop-casa-delonghi.com>

抽出量

仕様

アフターサービス

1) 使用中に異常（★）が生じた場合

ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「表示一覧」「故障かな？」（42～47ページ）で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社（下記）にご相談ください。

- ―― ― ― ― ― 〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉 ― ― ― ― ―
- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| ・使用中、電源プラグ・コード、コンセントが異常に熱くなる | ・電源プラグ・コードが変形／破損している |
| ・本体に水などの液体をこぼした | ・本体に強い衝撃を与えた |
| | ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない |

2) 万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に

1. お買い上げ日 2. 製品名と型式番号 3. 故障の状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※修理品の送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

※修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記載したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封してください。

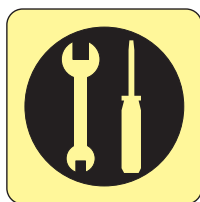
※本製品のメーカー保証範囲は保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります（補修用性能部品保有期間内）。

3) 補修用性能部品の保有期間について

当社では、この製品の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4) まごころ点検について



保証期間（1年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、下記までお問い合わせください。

5) 再資源化システムについて

ご不要になった製品は、当社が費用を負担し、素材ごとに分別、再資源化いたします。



送料について：送料はお客様のご負担（元払い）となります。あらかじめご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または下記までお問い合わせください。

デロンギ お客様サポートセンター

（受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00）

Tel.0120-804-280 / Fax.0120-956-020

〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページでのお問い合わせ（URL） <https://www.delonghi.co.jp/inquiry/>

保証書

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。 **持 込 修 理**

製品名：デロンギ プリマドンナ クラス 全自動コーヒーマシン			
型式番号：ECAM55085			
お 客 様	ご氏名：	様	TEL： — —
	ご住所：〒		
販 売 店	※店名・住所・TEL：		
	印		
※お買い上げ日：		年 月 日	保証期間：お買い上げ日より1年間 保証対象：本体

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、本書と購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）をご準備の上、下記までご連絡ください。お買い上げ販売店独自の保証やその他サービスがある場合は販売店へご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入しているお買い上げの販売店にご相談ができない場合には、下記に直接ご連絡ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - イ. 本書のご提示がない場合
 - ロ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障・損傷
 - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障・損傷
 - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障・損傷
 - ヘ. 購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）が無く、お買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

- ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合
- チ. 付属品および本体から取り外せる部品の破損・紛失
- 修理に際して代替部品に交換する場合があります。この場合、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 故障状態、その他の事情により、修理に代えて同機種での製品交換、または同等能力を有する他機種への交換となる場合があります。
- 故障によりお買い上げの製品が使用できないことによって生じた損害については補償いたしません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービス」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

デロンギ・ジャパン株式会社

TEL.0120-804-280 〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間とは変更することがありますのでご了承ください。



5713249571_01_1021

DEI-210938